

2025年日本国際博覧会に関する 取り組み報告

2025年12月
大阪商工会議所

会頭挨拶

「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマのもと開催された大阪・関西万博の成功は、世界158カ国・地域、7つの国際機関と、2,900万人のご来場の方々、各パビリオンを作った建築家・デザイナー、会場の運営に当たった多くの方々などの共同作業、共創の成果であります。万博を開催できる都市として、大阪が世界に認知された意義は計り知れません。誘致活動を含め、この万博に関わってこられたすべての方々に、心から敬意と感謝を表します。

大阪商工会議所は、経済界の一員として要望活動や機運醸成、会場建設費の募金、入場チケットの販売促進などに取り組んだほか、独自に中小企業・スタートアップの出展・受発注支援、海外交流の促進、全国商工会議所からの視察受け入れ、会場外も含むまちの魅力発信、世界の若者コミュニティの支援などにも注力してまいりました。お力添えいただきました大商会员企業の皆様、全国商工会議所の皆さんには、改めて御礼と感謝申しあげます。

本報告書では、誘致活動から閉幕まで、大阪商工会議所が総力をあげ、万博成功に協力、邁進してきた軌跡をまとめました。

55年ぶりの大阪の地元開催を通じて、万博参加の158カ国・地域や7つの国際機関の一端に触ることができました。今後は、万博の効果を最大限に生かせるよう、レガシーを脈々と引き継ぎ、大阪・関西のさらなる発展につなげるよう、尽力してまいります。



大阪商工会議所 会頭 鳥井信吾

目次

1. 大阪商工会議所の取り組み	6
(1) 誘致における取り組み	7
(2) 開催決定後の取り組み	8
1) 環境整備	8
①国・地方自治体等と連携した組織・計画づくり	
②本会議所における推進体制	
③提言・要望等	
④会場建設費の募金	
⑤入場チケットの販売促進	
⑥国際企画会議・国際参加者会議（IPM）の開催協力	
⑦会場アクセスの円滑化推進	
2) 参画支援	12
①先端的な技術の実証支援等	
②大阪ヘルスケアパビリオン リボーンチャレンジの出展支援等	
③本会議所が実施主体となったリボーンチャレンジ ウェルネスを実現するテクノロジーと空間 Series A；セレクション～輝く未来社会の創り手ここにあり～ サステナブルに基づく繊維・ファッショング産業の未来共創プロジェクト 身近な課題や世界のお困りごとを大阪の町工場が解決します！	
④大阪ヘルスケアパビリオンでの催事	
⑤サクヤオオカミプロジェクトへの協力	
⑥万博関連の受発注支援	
⑦テーマワーキーク事業への参画	
⑧ウーマンズパビリオンでの催事	
⑨大阪スマートヘルスプロジェクトの万博関連展示	
3) 機運醸成	23
①情報発信	
②万博懇話会の開催	
③関西商工会議所連合会での活動	
④全国の商工会議所ネットワークを活用した展開	
⑤展示会等でのブース出展、イベント等でのPR	
⑥PRグッズ等の製作・配布、館内の装飾によるPR	
⑦TEAM EXPO 2025への協力	
⑧EXPO2025デジタルウォレットの活用	

目次

4) おもてなし	31
①全国商工会議所の視察受け入れ	
②大阪まちごと万博共創プラットフォームの運営	
③「くうぞ、万博。」プロジェクトの実施	
④商店街集客事業「商店街で朝食を」の実施	
5) 海外との交流	35
①ナショナルデー・スペシャルデーイベントへの参加	
②各国主催イベントへの参加・開催協力	
③連携協定・覚書の締結	
④表敬訪問・視察団の受け入れ	
⑤大阪海外ビジネスワンストップ窓口の設置	
⑥日本アセアンビジネス促進プラットフォーム (代表者会議、シンポジウム、視察会) の実施	
⑦大阪ウェルカムレセプションの開催	
⑧Global MedTech EXPO 2025 in Japanの開催	
6) 委員等の就任状況	43
2. 会員企業アンケート	44
3. ハイライト	54
4. 編集後記	57

※本報告書に記載の役職、肩書は、原則として当時のものを用いております。

1. 大阪商工会議所の取り組み

1. 大阪商工会議所の取り組み

(1) 誘致における取り組み

本会議所は、2025日本万国博覧会の大坂開催の実現に向け、組織を挙げて機運醸成及び誘致活動を開けるため、「大阪商工会議所 2025日本万国博覧会誘致推進本部」（本部長：尾崎裕本会議所会頭、副本部長：本会議所副会頭、委員：本会議所常議員、部会長、委員長、支部長・運営委員長会代表、女性会会长）を2017年3月に設置した。

年月日	本会議所の誘致活動
2017.03.27	大阪商工会議所 2025日本万国博覧会誘致推進本部の設置
2017.03.30	ケニア・マイナ駐日大使との懇談での万博誘致PR <古川副会頭>
2017.04.05	ドイツ交通デジタル・インフラ省・ペア副大臣との会談での万博誘致PR <古川副会頭・井上貿易部会長>
2017.04.08	A S E A N (東南アジア諸国連合) 経済大臣との昼食会での万博誘致PR <西村副会頭>
2017.04.19	シンガポール日本視察団の表敬訪問での万博誘致PR <尾崎会頭>
2017.04.19	本会議所ビル内のドレッシング開始～万博誘致PR大型パネルの設置～(写真右上)
2017.06.07	ベトナム・フック首相との懇談会での万博誘致PR <尾崎会頭、西村副会頭、古川副会頭>
2017.06.08	ベトナム商工会議所・ロック会頭との懇談会での万博誘致PR <西村副会頭、橋本国際ビジネス委員長>
2017.06.09	アスタナ万博(カザフスタン)での万博誘致PR (~2017.06.12) <尾崎会頭>
2017.06.23	チリ・ジャレス駐日大使の表敬訪問での万博誘致PR <尾崎会頭、倉持副会頭>
2017.07.13	第11回日韓商工会議所首脳会議での万博誘致PR <尾崎会頭>
2017.07.25	天神祭「大商奉拝船」での万博誘致PR <尾崎会頭>
2017.07.26	2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟総会及び万博誘致セミナーへの出席 <西村副会頭、古川副会頭>
2017.08.09	ペラルーシ・イエシン駐日大使の表敬訪問での万博誘致PR <西村副会頭>
2017.08.22	アフリカ開発会議(南アフリカ・モザンビーク)での万博誘致PR (~2017.08.27)
2017.09.08	アスタナ万博(カザフスタン)での万博誘致PR (~2017.09.12) <西村副会頭>
2017.09.09	チリ経済使節団での万博誘致PR (~2017.09.16) <団長:倉持副会頭>
2017.09.12	アメリカ・ケリー総領事の表敬訪問での万博誘致PR <尾崎会頭>
2017.09.13	香港貿易発展局・フォン総裁の表敬訪問での万博誘致PR <尾崎会頭>
2017.09.23	情報・通信部会米国西海岸視察団での万博誘致PR (~2017.09.30) <団長:藤田情報・通信部会長>
2017.10.04	サッカーリーグ(セレッソ大阪対ガンバ大阪)での万博誘致PR <尾崎会頭>
2017.10.19	日本商工会議所正副会頭会議・常議員会での万博誘致PR <尾崎会頭>
2017.10.中旬	万博ステッカーキャンペーンを開始(写真右中)
2017.11.15	BIE総会への出席 <尾崎会頭>
2017.11.18	キューバ視察団での万博誘致PR (~2017.11.23) <団長:田所新人会代表幹事>
2017.11.20	シンガポール・ベトナム視察団での万博誘致PR (~2017.11.25) <団長:尾崎会頭>
2017.11.27	イスラエル・コーエン経済産業大臣、ベンアリ駐日大使の表敬訪問での万博誘致PR <尾崎会頭>
2017.12.06	ケルケンツェスBIE事務局次長との夕食会 <尾崎会頭>
2017.12.18	2025年万博の誘致実現に向けた決起集会での決意表明 <尾崎会頭>
2018.01.01	2025年大阪・関西万博賛同者募集活動「万博・名刺サポーターキャンペーン」実施 (~2018.02.28)
2018.02.11	バスケットボールBリーグ(大阪エヴェッサ対栃木ブレックス)での万博誘致PR <尾崎会頭>
2018.03.02	2025万博「大阪・関西に来てや!」プロジェクトinミナミ (~2018.03.11)
2018.03.03	2025万博「大阪・関西に来てや!」プロジェクトin千林商店街 (~2018.03.04)
2018.05.03	日本アフリカ官民経済フォーラム(南アフリカ)での万博誘致PR (~2018.05.04) <古川副会頭>
2018.05.15	2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟総会への出席 <尾崎会頭>
2018.06.13	BIE総会への出席 <尾崎会頭>
2018.06.29	在京大使向け万博説明会(大阪)のレセプションへの出席 <尾崎会頭>
2018.07.11	在京大使向け万博説明会(大阪)のレセプションへの出席 <古川副会頭>
2018.07.18	2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟総会への出席 <尾崎会頭>
2018.07.18	東京における2025年万博誘致PRイベントへの出席 <尾崎会頭>
2018.07.25	天神祭「大商奉拝船」での万博誘致PR <西村副会頭>
2018.08.04	なにわ淀川花火大会での万博誘致PR <尾崎会頭、手代木副会頭、古川副会頭>
2018.10.06	アフリカ開発会議での万博誘致PR <鴻池常議員>
2018.10.09	万博誘致フォーラム(フランス)での支持要請<尾崎会頭>(写真右下)
2018.11.23	大阪・関西万博開催決定!



1. 大阪商工会議所の取り組み

(2) 開催決定後の取り組み 1) 環境整備

①国・地方自治体等と連携した組織・計画づくり

■ 2025年日本国際博覧会協会の設立

大阪・関西万博の開催準備及び運営を担うため、本会議所、（一社）日本経済団体連合会、（公社）関西経済連合会、（一社）関西経済同友会、大阪府、大阪市を設立時社員とする（一社）2025年日本国際博覧会協会が2019年1月に設立され、尾崎裕本会議所会頭が同協会の副会長に就任した（同協会は2019年10月に（公社）へ移行）。

また、万博の開催計画を具体化するため、経済産業省が事務局を務める「大阪・関西万博具体化検討会（委員：尾崎裕 本会議所頭）」が2019年1月に開催され、西村貞一本会議所副会頭が出席した。



▲ 2019年2月、2025年日本国際博覧会協会の事務所開き 尾崎裕本会議所会頭が職員に訓示

- 2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会への参画

大阪府・大阪市は2021年2月、オール大阪の知恵とアイデアを結集させ、大阪の活力、魅力を世界に伝える出展企画を行うため、2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会を設立し、尾崎裕本会議所会頭が顧問に就任した。

パビリオンの建設、展示等を担う（一社）2025年日本国際博覧会大阪パビリオンも2022年7月に設立され、本会議所は社員に就任した（同法人は2023年10月に（公社）へ移行）。

同パビリオン内には、中小企業・スタートアップの技術力、魅力を発信するゾーンが設けられ、その企画・運営は、本会議所と（公財）大阪産業局が共同で担った。



▲出展基本計画（2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会、2022年3月）

②本会議所における推進体制

大阪・関西万博の開催に向けて、（公社）2025年日本国際博覧会協会はじめ、国や地方自治体と連携し、本会議所を挙げて機運醸成等に取り組んでいくことを目的に、「大阪商工会議所2025年日本国際博覧会協力推進本部」（本部長：尾崎裕本会議所会頭、副本部長：本会議所副会頭、委員：本会議所常議員、部会長、委員長、支部長・運営委員長会代表、女性会会长）を2020年1月に設置した。

同本部は常議員会に併催し、万博の開催準備・運営に関する最新情報や本会議所による取り組み状況を閉幕までに計20回、報告した。

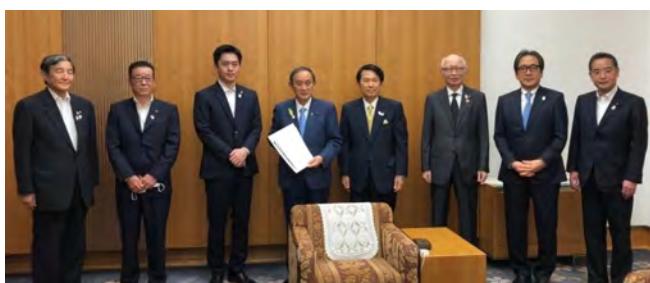
③提言・要望等

本会議所は、2019年6月に全国の経済団体に先駆けて、大阪・関西万博の開催計画に関する意見書を取りまとめた。

2021年からは、本会議所、大阪府、大阪市、関西広域連合、（公社）関西経済連合会、（一社）関西経済同友会、

（公社）2025年日本国際博覧会協会とともに要望活動を実施。大阪・関西万博の開催準備に向けた国における積極的な施策推進を促し、「未来社会の実験場」というコンセプトの具体化に向けた事業に対する財政的、技術的支援を求めた。

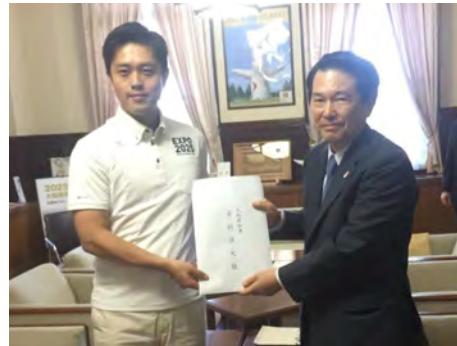
万博担当大臣や経済産業大臣との懇談の機会も通じて、要望の実現を働きかけた。



▲ 2021年7月、インフラ整備に関する要望

【本会議所からの主な要望】

- ・中小企業、スタートアップも含めた多くの企業や個人が参加しやすい仕組みの構築。
- ・積極的な規制緩和を行い、その効果が検証されたものは万博後もレガシーとして恒久化。



▲ 2019年6月
大阪・関西万博開催に関する意見書



▲ 2022年12月
ソフト事業・規制緩和に関する要望

建議日	要望名	本会議所からの建議者
2019.6.20	「2025年日本国際博覧会」テーマ具体化及び開催計画の基本的な方向性に関する意見	尾崎裕会頭
2021.7.2	2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）関連事業に関する要望	尾崎裕会頭
2021.12.14	2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）関連事業に関する要望	東和浩副会頭
2022.5.24	2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）関連事業に関する要望	東和浩副会頭
2022.12.16	2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）関連事業に関する要望	東和浩副会頭
2023.6.20	2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）関連事業に関する要望	東和浩副会頭
2024.1.18	2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）関連事業に関する要望	—
2025.2.5	大阪・関西万博の入場チケット等に関する緊急要望	—

④会場建設費の募金

万博の会場建設費は、政府、地方自治体、民間で3分の1ずつ負担することが決定された（2017年4月、閣議）。

（公社）2025年日本国際博覧会協会による民間資金の調達（総額2350億円の3分の1に相当する783億円）に協力するため、本会議所は、（一社）日本経済団体連合会、（公社）関西経済連合会、

（一社）関西経済同友会とともに2019年度から募金活動を実施した。

募金は、万博への理解を深めていただく機運醸成の一環でもあることから、本会議所では会員企業、大阪府内の19商工会議所にも幅広い協力を呼び掛けた。

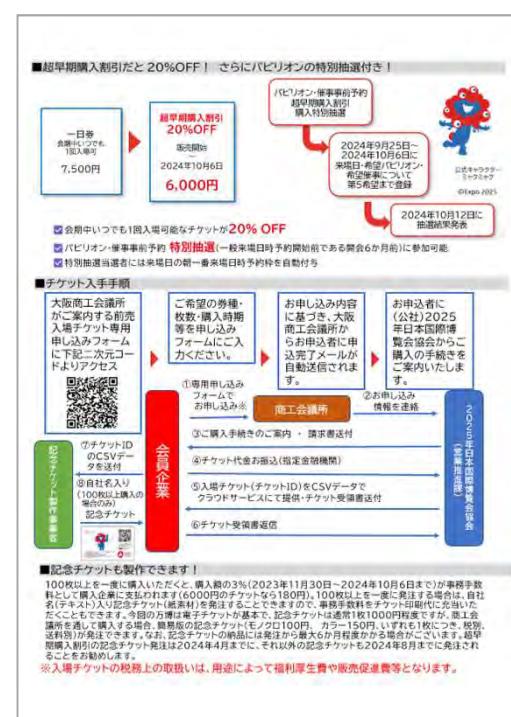
2021年9月、機関紙「大商ニュース」で会員企業への寄附協力をお願い▶

⑤入場チケットの販売促進

万博の入場チケット料金・券種は、2023年6月の国際博覧会推進本部会合（本部長：岸田文雄内閣総理大臣）で正式に承認され、同年11月に発売開始された。

本会議所はチケットの販売促進に協力し、日本商工会議所や大阪府内19会議所と連携した活動を行い、ホームページの専用申込みフォームで会員企業からのチケット申し込み受け付けるとともに、購入者に早期の来場日時予約を呼び掛けた。

（公社）2025年日本国際博覧会協会による閉幕までの入場チケットの累計販売枚数は、2,206万9,546枚（2025年10月23日時点）となった。



▲チラシやホームページで、会員企業へチケット購入を呼び掛け

機関紙「大商ニュース」の2021年9月25日号の表紙です。表紙には、大阪商工会議所のロゴと、大阪商工会議所の会員企業へのチケット購入呼び掛けの記事が掲載されています。記事の見出しは「万博開催へ機運醸成 幅広い企業から参加を」です。

⑥国際企画会議・国際参加者会議（IPM）の開催協力

■ 個別相談窓口「ワンストップショップ」への協力

万博の公式参加国・機関を対象に、実施計画を説明する国際企画会議（International Planning Meeting）が2022年10月に、参加ガイダンスを行う国際参加者会議（International Participants Meeting：IPM）が2023年11月～2025年1月に計3回開催された。

本会議所は、2023年11月、2024年6月のIPMで設置された個別相談窓口「ワンストップショップ」に協力し、大阪における法人設立の個別相談対応を行った。あわせて本会議所が実施する万博関連事業等も紹介した。



▲2023年11月、IPM 2023 Autumnで法人設立についての個別相談に対応

■ エクスカーションのコース企画

2023年11月に開催されたIPMのエクスカーションにおいて、本会議所は、大阪の歴史・文化と最新技術を体験するコースを企画し、公式参加国10カ国から22人が参加した。

■ ウエルカムレセプションへの出席

2023年6月（大阪）、同年11月（大阪）、2025年1月（姫路）に開催されたIPMウェルカムレセプションに、鳥井信吾本会議所会頭が出席し、挨拶を行った。



▲2025年1月、IPM 2025 ウェルカムレセプションで鳥井信吾本会議所会頭が挨拶

⑦会場アクセスの円滑化推進

■ 2025年大阪・関西万博交通円滑化推進会議

万博会期中における、万博関連交通と通勤や物流等にかかる一般交通の円滑化を図るため、2022年12月に2025年大阪・関西万博交通円滑化推進会議（構成団体：大阪府、大阪市、（公社）2025年日本国際博覧会協会、本会議所、（公社）関西経済連合会、（一社）関西経済同友会、近畿経済産業局、近畿地方整備局、近畿運輸局、関西鉄道協会、近畿バス団体協議会）が設置され、鳥井信吾本会議所会頭が委員に就任した。

2024年2月から、万博の来場者輸送と都市活動の両立を目指し、一般交通の抑制や分散、平準化の取組に協力する企業「万博TDMパートナー」を募集し、1,644件、3,684社の登録を得た。2024年9～10月には、交通混雑への対応を試行する「TDMトライアル」を実施。万博会期中には、交通混雑予測情報等を随時メール配信するとともに、6月、8月、9～10月の混雑期に迂回経路や時差出勤等の交通混雑緩和に向けた情報を提供した。

■ 水上交通実現への取り組み

万博会場への水上交通で水都大阪の魅力を発信するため、本会議所は、2023年6月の大阪・関西万博関連事業に関する要望で、夢洲と水都大阪の市内拠点を結ぶ新たな観光商品造成への支援を求めたほか、（公社）2025年日本国際博覧会協会らと2023年7月に船舶事業者向けの説明会を開催し、アンケート・ヒアリング調査でニーズを把握した。ニーズを踏まえて、同年10月と2024年10月には、本会議所らで構成する水都大阪コンソーシアムが、万博会場と大阪市内中心部を結ぶクルーズ観光の社会実験を実施した。

2025年3月に「『大阪・関西万博航路』認定式ならびに夢洲浮桟橋（西）お披露目及び

ミヤクミヤク200試乗会」が夢洲浮桟橋で開催された。会期中は計7社が万博航路を就航した。

1. 大阪商工会議所の取り組み

(2) 開催決定後の取り組み 2) 参画支援

①先端的な技術の実証支援等

■ 夢洲における実証実験の支援

本会議所は、(公社)2025年日本国際博覧会協会とともに、万博会場となる夢洲における実証実験を2021年1~2月に公募し、39件の提案の中から、9件を選定した。

選定実験の実施は、本会議所、大阪府、大阪市による「実証事業推進チーム大阪」が2021年8月~2023年3月まで支援した(協議・調整を経て、夢洲以外の場所での実施が4件、実施できなかった実験が1件)。

この支援を経て計5件が、万博開催時に会場で実証・実装された(下表※印ご参照)。

▼夢洲における実証実験の選定・支援一覧

(代表機関名五十音順)

代表機関名	実証実験名
大阪ガス(株)	放射冷却素材SPACECOOLの価値検証実証試験 ※
大阪市高速電気軌道(株)	自動運転を活用した未来社会の実装検討 ※ (写真下左)
(大) 大阪大学 レーザー科学研究所	超スマート社会のサインシステム ～レーザーとドローンによる大空への空間描画～
関西電力(株)	マイクロコミュニティを実現するスマートポール実証実験 ※
住友林業(株)	グリーンインフラの高度化に関する実証実験
(株)竹中工務店	都市型自動運転船「海床ロボット」による都市の水辺のイノベーション実証実験※
日本製鉄(株)	超軟弱地盤における、「NSエコパイル®」打設＆引抜き実証実験および 「カルシア改質材」による支持力改良実験
丸紅(株)	空飛ぶクルマによる飛行体験 “Experience the Sky” ※ (写真下右)



■ 人とロボットが共通認識を持つ「コモングラウンド」の実証支援

本会議所は、大阪・関西万博が目指す「Society5.0」実現に向けた汎用的なインフラとなりえるプラットフォームとして「コモングラウンド」の検討を進め、賛同する企業とともに2021年7月、共同実験場「コモングラウンド・リビングラボ」を中西金属工業(株)敷地内に開設した。

本ラボでは、人とロボットやロボット同士が、スマートにリアルタイムの空間情報を共有するための実験などを支援。2025年9~10月には、本ラボと万博会場をつなぎ、リアルタイムで双方向に触れ合えるコミュニケーション実験を実施した。



▲ コモングラウンド・リビングラボ



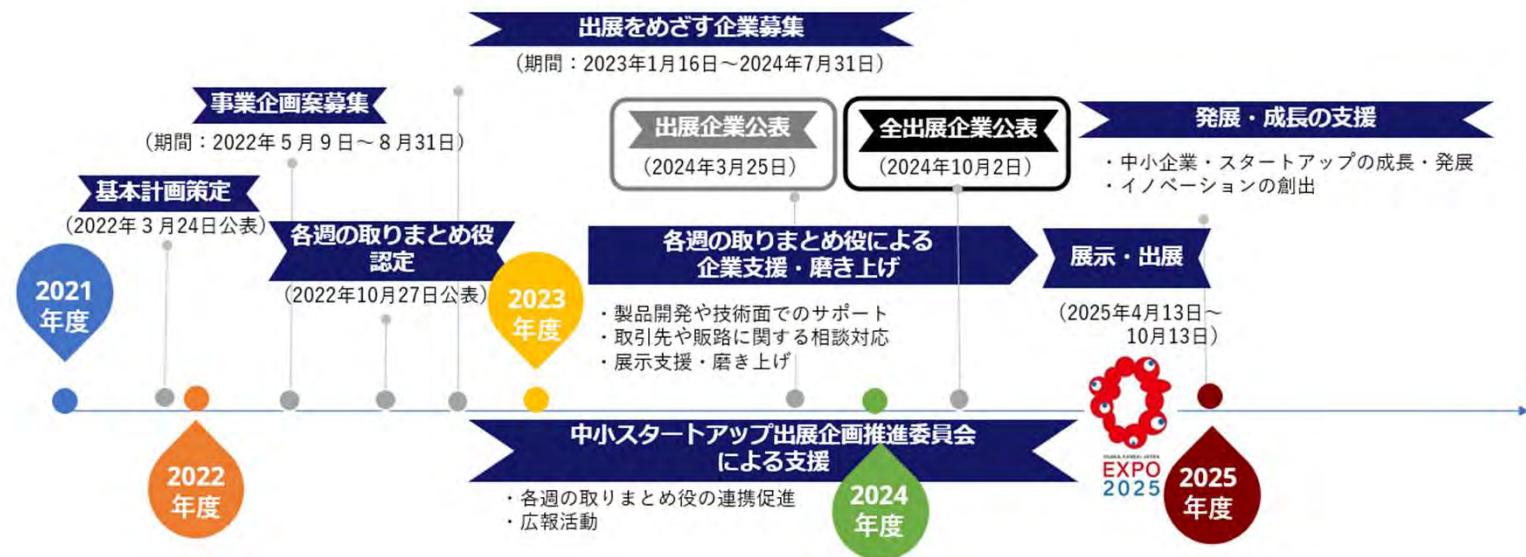
▲ 2025年10月
万博会場内外をつなぐ実験を実施

②大阪ヘルスケアパビリオン リボーンチャレンジの出展支援等

■ リボーンチャレンジの企画・運営

大阪ヘルスケアパビリオンには、中小企業・スタートアップの技術力、魅力を発信するゾーン「リボーンチャレンジ」が設けられ、その企画・運営は、本会議所と（公財）大阪産業局で構成する中小・スタートアップ出展企画推進委員会が担った。

毎週、展示企業を入れ替える形で運営し、最終的に432社の中小企業・スタートアップが出展した。



中小・スタートアップ出展企画推進委員会は、各週の展示企画の取りまとめ役となる企業・団体（実施主体）を2022年5～8月に募集した。18企業・団体から30件の提案があった中から、外部有識者等による審査を経て、同年10月に14企業・団体の26件を発表した。

2024年3月には、出展する中小企業・スタートアップの第一弾として377社を公表。その後、出展企業の追加選定を行い、2024年10月に最終出展企業を公表し、432社が出展した。

出展エリアの仕様の確認およびリボーンチャレンジ間の連携を目的として、実施主体を対象としたワーキングを2023年4月～2025年9月に全13回実施した。

■ リボーンチャレンジの広報

2022年11月に専用ホームページを開設した後、2023年1月にはSNS運営、2024年3月には専用ポスター制作、2025年1～3月には商業施設でのPRブース出展等を通じて、リボーンチャレンジを広報した。

2025年4～7月には、府内の小・中学生、高校生への情報発信チラシを制作・配布したほか、2024年12月～2025年7月に広報紙「Reborn Challenge Journal」Vol.01～03を発行し、全出展企業の展示物を紹介した。



▲ 広報紙「Reborn Challenge Journal」Vol.01～03

③本会議所が実施主体となったリボーンチャレンジ 「ウェルネスを実現するテクノロジーと空間」

■ 概要

4月29日～5月5日（テーマ：カラダの健康と美容を実現するオフィス）と5月6～12日（テーマ：ココロとアタマの健康を目指したオフィス）の2週間で、26グループ40社が出展した。

自身のカラダ・アタマの状態を計測する等、体験型の展示が人気を集め、1日当たりの1ブース体験者は平均約200人、平均来場者数は約1万.3,000人（推計）に上った。

アラブ首長国連邦アブダビミッション団をはじめ、海外から多くの来場があった。



▲ 2025年5月
展示体験



▲ 2025年5月
アラブ首長国連邦
アブダビミッション団が来場

■ 選考から出展まで



▲ 2025年2月
健康経営×スマートヘルス
マッチングイベント

2023年12月に、出展に向けた選考も兼ねたピッチコンテスト「未来のウェルネスピッチ」を開催し、2024年3月に出展者を決定した。

その後、中小・スタートアップ出展企画推進委員会との出展調整や随時更新される出展ルールを出展者へ周知する等の対応を行った。

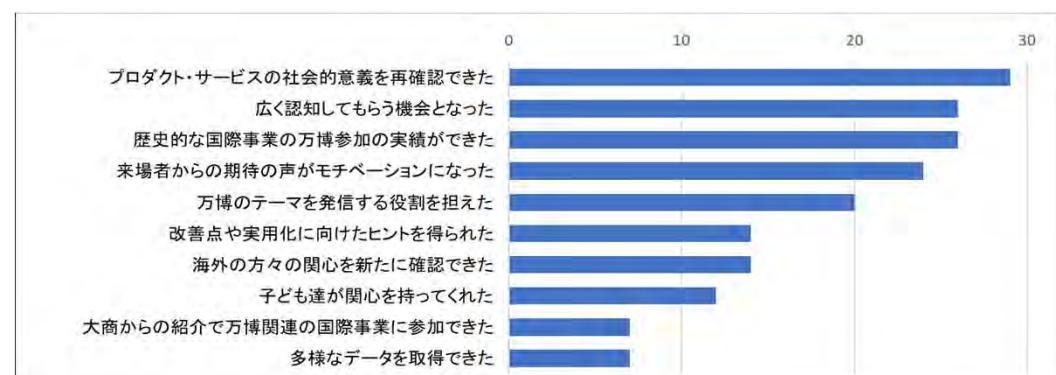
2024年10～11月には、展示に必要となる「英語表現」と「法規制対応」に関するセミナーを開催し、専門家による個社指導も実施した。

2025年2月には、健康経営企業に焦点を当て出展企業等のサービス実装を支援する「健康経営×スマートヘルスマッチングイベント」を開催した。

■ 出展の成果

2023年以降、30以上のメディアで報道されたことで、出展者である中小企業・スタートアップの知名度や信用力向上に寄与した。

また、今後の実用化や社会実装に向けた課題の明確化、海外連携強化に向けたきっかけづくり等において効果をあげた。



▲出展で得られたこと（出展企業アンケートより）※数字は回答数、複数回答

<出展者の声>

- ・予想以上に多くの来場者・体験者があり、短期間に認知を拡げることができた。
- ・ブース来訪者から実用化を望む声が多くあり、今後の励みになった。
- ・米国、台湾、マレーシアから脳外科や看護、栄養士の方などがブースに来訪した。

③本会議所が実施主体となったリボーンチャレンジ 「SeriesA；セレクション～輝く未来社会の創り手ここにあり～」

■ 概要

8月12～18日（テーマ：暮らしの“ミライ”を体感する）に、デジタル、XR、環境、SDGs、ものづくり等の各分野から独自の技術力や開発力を持つ中小企業・スタートアップ9社・団体が、先進的な製品やサービスを「見て、触れて、楽しむ」体験型で展示した。

大阪・関西から、全国・世界に向けて先進的な技術・サービスを活用した明るい未来社会を提示することを目指し、テクノロジーで生活シーンが大きく変化し、それにより人々が身体的、精神的、社会的な「健幸」を手に入れることができる未来をシーンごと（Living、Working、Playing）に体現した。



▲ 2025年8月、鳥井信吾
本会議所会頭が視察



▲ 2025年8月、展示体験

■ 選考から出展まで



▲ 2024年2月、最終選考会

2024年2月に、書類審査を通過した13社・団体を対象に最終選考会を開催し、10社・団体（のち1社辞退）を決定した。

その後、出展者との全体ミーティングを重ね、中小・スタートアップ出展企画推進委員会との出展調整や随時更新される出展ルールを出展者へ周知する等の対応を行った。

2024年度には、外部機関とも連携し、オンラインピッチへの登壇や商談会出展等を活用して出展者のPRを進めたほか、専門家による展示方法・手法の勉強会や、訴求力を高めるプレゼン講座等を開催した。

■ 出展の成果

出展者である中小企業・スタートアップの知名度や信用力向上に寄与したほか、関心企業とのマッチングや地域を挙げて今後の支援体制づくりも生まれつつある。

また、今後の実用化や社会実装に向けた課題の明確化、海外連携強化に向けたきっかけづくり等において効果をあげた。

<出展者の声>

- ・展示した技術のコンセプトが確かであることを確認し、予防や健康を支える社会実装に向けた手応えを得た。
- ・色々な世代の方に知っていたらしく同時に、忖度のない意見や「面白い、美味しい、どこで買えるのか」といった反応を感じることができた。
- ・展示物を来場者の方が笑顔で触れていただき、表面処理が持つ可能性を感じた。またSDGs向けの展示物にも多くの方からお声をかけていただき環境に対する関心の強さも伝わってきた。
- ・展示では、高い水準のモノづくりや、DEI（多様性）を重視した働き方を、ドームの中で臨場感のあるVR映像体験頂いた。体験人数は、1万2,219人となった。5,000を超えるモノづくりの応援メッセージをいただいた。
- ・子どもたちが全身を使って楽しんでいる姿や、ご家族の皆さまがその様子をカメラに収めている光景を拝見し、大変うれしく思った。
- ・来場者が多くから、新時代のモビリティへの期待と、社会的意義を再確認。

③本会議所が実施主体となったリボーンチャレンジ 「サステナブルに基づく纖維ファッション産業の 未来共創プロジェクト」

■ 概要

9月23～29日（テーマ：未来のファッション）、纖維・ファッション産業を中心とした17社が出展した【共同：（協）関西ファッション連合】。

万博参加を通じて、中小企業同士が交流、協力し、イノベーションが生み出されることを目指し、出展企業は4グループに分かれて2023年から約2年半かけて展示物を共創した。

1日当たりの平均来場者数は約3万人、1週間で計約21万人（推計）に上った。



▲ 2025年9月、鳥井信吾本会議所会頭が視察

■ 選考から出展まで



▲ 出展・協力企業集合

◀ 各グループミーティング

2023年9月に、出展申込企業全社が自社の持つ技術などを説明する「プレゼン&交流会」を実施。その後、グループに分かれてワーキングを行い、2025年3月に出展者17社を決定した。

出展企業に協力する「協力企業」17社も含め、計34社で全体ワーキングを計10回、各グループミーティングを月1回程度実施し、交流しながら展示物を作成した。

2024年10月に「ファッション・イノベーション展」、2025年7月に記者会見・メディア向け内覧会等を開催し、広報を支援した。その他、中小・スタートアップ出展企画推進委員会との出展調整や、外部機関と連携した専門機関との相談、助成金取得等の展示物開発支援等も行った。



▲ メディア取材

■ 出展の成果

2023年以降、約100件のメディア等で報道されたことで、纖維・ファッション産業、参加企業の中小企業の知名度や信用力向上に寄与した。

出展企業では、一部でビジネスが始まるなど新たなネットワーク・サプライチェーンが構築されたほか、展示物製作を通じてチャレンジするマインドの醸成、他企業、他業種との連携ノウハウの蓄積にもつながった。

開発、社会実装に向けた課題の明確化、他業種、海外連携強化に向けたきっかけづくり等においても効果をあげた。

<出展者の声・成果>

- ・展示物共創をみんなで諦めずに、追求できたことが万博の本当の価値。調和の礎をファッションというアプローチから実現できたこと、他社と尊重しながらつながれたことに未来に希望が持てた。
- ・共創経験を達成できたことで、胸を張って、以後、営業活動を行える。
- ・未来を担う子供達にワクワクを届けられた。
- ・万博の出展を通して、自社素材の新たな可能性を感じることができた。
- ・万博がきっかけで交流があり、取引がスタート。奈良県生産の靴下、帽子、ストールなどの立体編みの企画がされる。25年秋冬で某社が手掛ける小売店60店舗で販売。

③本会議所が実施主体となったリボーンチャレンジ 「身近な課題や世界のお困りごとを大阪の町工場が 解決します！」

■ 概要

10月7～13日（テーマ：身近な課題や世界のお困りごとを大阪の町工場が解決します！）、町工場の力を結集することで市場性の高い試作品・製品開発を目指し、19グループ73社が出展した【共同：大阪信用金庫】。

万博会期最終週で連日盛況となり、1日当たりの1ブース体験者は平均約550人、平均来場者は約1万超（推計）に上った。また、出展期間中だけで20社を超えるメディアからの取材があり、社会に広く発信された。



▲ 2025年10月
鳥井信吾本会議所会頭が
視察



▲ 2025年10月
会期終了後出展者集合写真

■ 選考から出展まで



2023年2月に参加企業の募集開始。参加を希望する町工場を中心とした企業間の交流会を定期的に開催し、複数社が連携して1つの展示企画・製作物に取り組むよう働きかけた。その結果、19の展示企画と出展企業グループが決定し、その後は、本番に向けて出展準備交流会を複数回開催し、企画を練り上げた。



2025年2月には「The Kick off Meeting」を開催し、各グループの結束を強化した。

◀ 2025年2月、The Kick off Meetingの様子

■ 出展の成果

出展までに交流会等を多数開催することで、企業間の強固なネットワークが形成された。出展期間中は、約29万人の来館者が見学し、出展した町工場・中小企業の高い技術力、独創的なプロダクト及び企業知名度の向上に大きく寄与した。

今後の実用化、製品化に向けた具体的な課題や潜在的なニーズの収集、海外進出への足掛かり等、将来のビジネス展開に向けた多方面での効果が見られた。

<出展者の声>

- ・来場者が予想を上回り、多くの方に展示・技術を見てもらえ、ビジネスの手応えを感じた。
- ・万博は来場者の層、人数とも非日常的な規模であり、老若男女問わず多くの方に直接触れてもらえて、展示への喜びの反応をいただけたことが印象に残った。
- ・万博という大変貴重なイベントに参加できたことは今後の事業における大きな経験になった。今後もこうした機会があれば出展を検討したい。
- ・「こんなのがあったらほしい」「いつできるのですか」「早く商品化してほしい」という具体的な購買意欲や期待を示すご意見を多数いただいた。
- ・展示を機に商品化を模索中。その際には引き続き支援をお願いしたい。
- ・未来を担う子供たちに「ものづくり」への興味や感動をもってもらえた。彼らが成長したときに「ものづくり」を推進してくれるキッカケ、駆動力になればうれしい。
- ・自社スタッフにとっても、自社製品が市場で戦えることの実感や自信につながったのではないかと思う。

④大阪ヘルスケアパビリオンでの催事

大阪ヘルスケアパビリオンのイベント広場「リボーンステージ」では、協賛企業や協力機関、大阪府内の自治体等が様々な催事を開催した。本会議所は主催事業のほか、推薦、共催も含め3件の催事を行った。

■ くうぞ万博！くうぞ大阪！

本会議所は、大阪の食の魅力を発信する催事「くうぞ万博！くうぞ大阪！」を4月21日に実施した。

当日は4事業者がキッチンカーで独自の万博メニュー等を販売。ステージ上では出店事業者や大阪のおすすめ観光スポットの紹介、大阪の食や万博にちなんだクイズ大会を実施した。終日、外国人や学生など計約600人で賑わった。



2025年4月、「くうぞ万博！くうぞ大阪！」▲

■ 「映画『天外者』～時代を超え、志は未来に生き続ける～」にかかるイベント

本会議所が推薦した「映画『天外者』～時代を超え、志は未来に生き続ける～」にかかるイベントが9月1日に実施された。

映画の上映やトークセッションが行われたほか、本会議所の初代会頭・五代友厚に関するパネルや資料、大阪企業家ミュージアムの紹介等が展示され、計390人が観覧した。



2025年9月、「映画『天外者』～時代を超え、志は未来に生き続ける～」にかかるイベント▲

■ どっすごい！SDGs大阪・関西万博場所

本会議所は、9月20日に「どっすごい！SDGs 大阪・関西万博場所」を共催した（主催：(株)オオサカムセンデンキ）。

SDGsに取り組む府内中小企業4社がSDGs横綱を目指して紙相撲に挑む「どっすごい！SDGs 横綱グランプリ」、来場者自身が取り組むSDGsについて共有し紙相撲対決に挑戦する「相撲でSDGs！どっすごい紙相撲チャレンジ」を実施し、中小企業と万博来場者が一体となって、楽しみながらSDGsを学ぶ機会を提供した。大人から子供まで約70人が参加した。



2025年9月、「どっすごい！SDGs大阪・関西万博場所」▲

⑤サクヤオオカミプロジェクトへの協力

本会議所の女性活躍支援事業「大阪サクヤヒメ表彰」の受賞者有志は、2019年11月に「万博サクヤヒメ会議」を立ち上げ、女性活躍に向けた社会を実現するムーブメントの象徴となるアート作品の制作、万博会場内での展示を行う「サクヤオオカミプロジェクト」を実施した。

同プロジェクトは、2025年3～10月に、大阪ヘルスケアパビリオン内外にアート作品10点を展示したほか、同年7月には、同パビリオンのリボーンステージでイベントを開催した。

本会議所は、同プロジェクトに広報協力した。

大阪ヘルスケアパビリオン内外に
アート作品を10点設置▶



⑥万博関連の受発注支援

本会議所は、大阪府と連携し、万博に関連する商取引を促進するための受発注支援サイト「万博商談もずやんモール」を2023年6月に開設。万博公式参加国と大阪の中小企業との間の、資材調達・建設・役務提供などのマッチングを行い、会期末までに31件の商談を成立させた。

また、本会議所が全国の商工会議所・商工会等588団体と共同運営する商取引支援サイト「ザ・ビジネスモール」の中に特設ページ「BMアフター万博コマース」を2025年7月に新設し、公式参加国が様々な商品を日本市場に販路開拓する支援を行うとともに、日本側企業の品揃え充実化を支援した。

さらに、「BMアフター万博コマース」では、万博閉幕後に各国がパビリオンやブースの内外装装飾、建材、陳列棚、バックオフィスの什器・家具等を日本側企業に販売する「リユース・リサイクル・アップサイクル」案件も掲載するとともに、パビリオン現地視察会も開催し、取引・商談を促した。

「BMアフター万博コマース」では、2025年11月末までに111件の商談が申し込まれた。

The screenshot displays the official website for the Expo 2025 Osaka, Japan exhibition. It features a search bar at the top and several sections showcasing products from participating countries. Key sections include:

- Dry Foods/Dried Fruits:** Shows products like Macadamia Nuts, Peanut Butter, and Dried Mangoes.
- Groundnuts (堅粕)**: Shows various types of groundnuts.
- Dried Mangoes (ドライマンゴー)**: Shows dried mango products.

Each product section includes a brief description in English and Japanese, along with images of the items.

▲万博商談もずやんモール、BMアフター万博コマースのサイト

[万博商談もずやんモールの主な成約事例]

- ・ ジンバブエの商業スペースの設計・施工
- ・ ブルンジの商業スペースの設計・施工
- ・ ブータンの商業スペースの設計・施工 (写真右上)
- ・ ラオスの商業スペースの設計・施工 (写真右中)
- ・ パキスタンの商業スペースの設計・施工 (写真右下)
- ・ ヨルダンパビリオンの商業スペースの設計・施工
- ・ イエメンの展示販売商品の輸入に係る荷受業務
- ・ ヨルダンの展示販売商品の輸入に係る荷受業務
- ・ ダジキスタンの展示販売商品の輸入に係る荷受業務
- ・ モルドバの展示販売商品の輸入に係る荷受業務
- ・ フランスの海外ビジネス交流会のケータリング業務
- ・ ドイツパビリオンの飲食店営業許可
- ・ ルクセンブルクパビリオンの飲食店営業許可
- ・ バーレーンパビリオンの飲食店営業許可
- ・ ブルンジのカフェの商品開発および運営業務
- ・ 公式ユニフォームポシェット製作・納品業務の一般競争入札



⑦テーマウィーク事業への参画

■ 2025年日本国際博覧会協会との連携協力協定締結

万博のテーマウィーク事業に関して、本会議所は、2022年1月に（公社）2025年日本国際博覧会協会と連携協力協定を締結し、テーマウィークプログラムサポーターに就任した。

同協定に基づき、本会議所は、（公社）2025年日本国際博覧会協会、世界経済フォーラムグローバル・シェイパーズ・コミュニティ※大阪ハブ

（シェイプ・ニューワールド・イニシアティブ）とともに、テーマウィーク事業において、地球的規模の課題解決に向けた次世代の視点とアイデアによる対話や交流を連携して実施した。

※グローバル・シェイパーズ：世界経済フォーラムに設置された33歳以下の若者によるコミュニティ



▲ 2023年12月、テーマウィーク事業における連携に関する説明会で東和浩本会議所副会頭が挨拶

■ 未来社会創成委員会の開催

本会議所とシェイプ・ニューワールド・イニシアティブは、万博に向けた事前調査の一環で、2024年1~10月に「未来社会創成委員会」を開催。テーマウィーク事業の8テーマ毎に、次世代人材と本会議所の役員・議員が意見交換した。

■ シェイプニューワールドシンポジウムの開催

シェイプ・ニューワールド・イニシアティブが万博会場でテーマウィーク事業の8テーマ毎に開催したシンポジウムでは、本会議所の正副会頭が挨拶に登壇した。



▲ 2025年10月、万博会場内のシンポジウムに鳥井信吾本会議所会頭が登壇

▼テーマウィーク事業に関する本会議所の参画

期間	テーマ	シェイプニューワールドシンポジウム 挨拶登壇	(事前) 未来社会創生委員会意見交換参加
4/25~5/6	未来への文化共創	鳥井信吾会頭	鳥井信吾会頭
5/15~26	未来のコミュニティとモビリティ	吉田昌功副会頭	河井英明都市活性化委員長
6/5~16	食と暮らしの未来	立野純三副会頭	更家悠介中堅・中小企業委員長
6/20~7/1	健康とウェルビーイング	東和浩副会頭	相良暁副会頭
7/17~28	学びと遊び 地球の未来と生物多様性	相良暁副会頭	中野智哉産業技術振興・スタートアップ連携 委員会副委員長
8/1~12	平和と人権	廣瀬恭子副会頭	廣瀬恭子副会頭
9/17~28	地球の未来と生物多様性	本荘武宏副会頭	本荘武宏副会頭
10/2~12	SDGs + Beyond いのち輝く未来社会	鳥井信吾会頭	東和浩副会頭

⑧ウーマンズパビリオンでの催事

政府、リシュモン ジャパン(同) カルティエ、(公社) 2025年日本国際博覧会協会による「ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier」の催事スペースでは、公募で採択された様々な催事が開催された。本会議所は主催事業のほか、共催も含め4件の催事を行った。

■ トークイベント 「これから企業経営と女性を考える」

本会議所女性会は、4月23日に「これから企業経営と女性を考える～社会の多様化と経営への新たな視点～」をテーマに、国内外の女性の起業や社会参画を後押しすることを目的としたトークイベントを開催。久保田光恵本会議所女性会会長が挨拶し、会場・オンラインあわせて174人が参加した。鳥井信吾本会議所会頭も出席し、パネルディスカッションでは廣瀬恭子本会議所副会頭が進行役を務めた。



▲ 2025年4月、トークイベントの様子

左から、コメントする鳥井信吾本会議所会頭、パネルディスカッション（進行：廣瀬恭子本会議所副会頭）、挨拶する久保田光恵本会議所女性会会長

■ 「女性×健康×キャリア 働くことの未来を描く ～ウェルビーイングとともに～」

主 催：サクヤワーキング コミュニティ※

共 催：本会議所

開催日：4月27日 参加者：95人（会場・オンライン）



■ 大阪サクヤヒメEXPO 国際女性会議

主 催：大阪サクヤヒメ SDGs 研究会※

共 催：本会議所

開催日：5月27日 参加者：276人（会場・オンライン）



■ ～中学生×サクヤヒメ先生～ 「未来シンポジウム」 in EXPO2025

主 催：(一社) 万博サクヤヒメ会議※

共 催：本会議所

開催日：8月20日 参加者：134人（会場・オンライン）



※サクヤワーキング コミュニティ、大阪サクヤヒメ SDGs 研究会、(一社) 万博サクヤヒメ会議は、いずれも本会議所の女性活躍支援事業「大阪サクヤヒメ表彰」の受賞者有志が設立した団体

⑨大阪スマートヘルスプロジェクトの万博関連展示

個人や従業員の健康増進、疾患の予防・治療、リハビリ・介護予防等につながるアプリやサービスの開発を担うスタートアップを支援するための大府事業「大阪スマートヘルスプロジェクト（Health-O）」の一環として、本会議所はスタートアップの技術や開発サービス等の紹介を通じ、スマートヘルスが実現する健康づくりの新しいカタチを体感できる期間展示を万博会場内等で実施した。

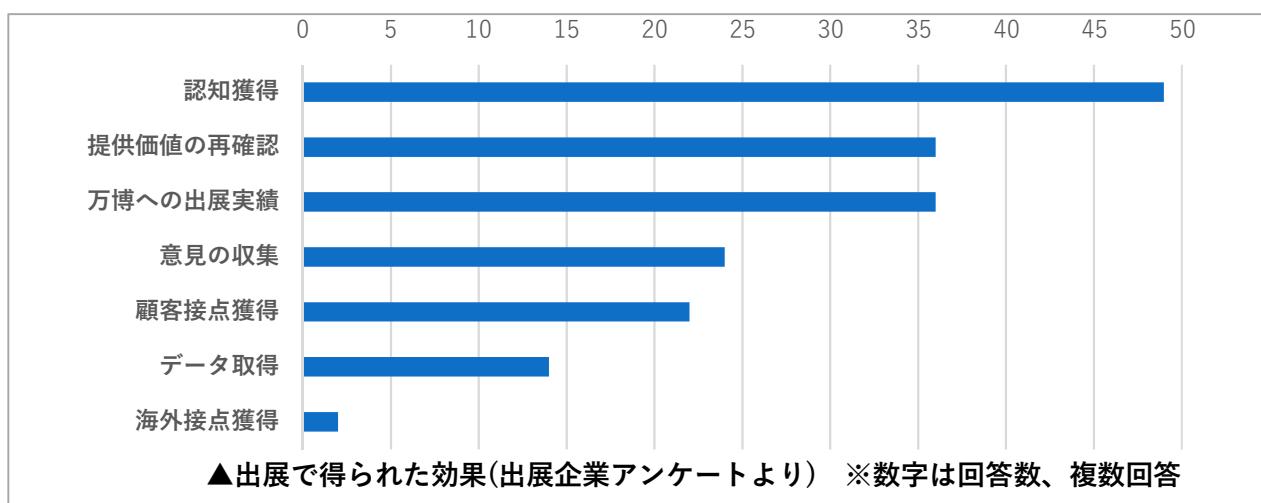


▲ 2025年6月、EXPOメッセでの展示

	出展会場	期間	社数
1	フューチャーライフヴィレッジ（会場内）	5/6～5/12	6社
2	フューチャーライフヴィレッジ（会場内）	6/17～6/23	6社
3	EXPOメッセ（会場内）	6/27～6/29	23社
4	Japan Health（インテックス大阪）	6/25～6/27	25社

フューチャーライフヴィレッジでは計4,813人、EXPOメッセでは1万6,350人、Japan Healthでは2,589人が出展ブースに来場した。

万博に出展することによる認知獲得のほか、来場者からの意見の収集、従業員の士気向上、出展企業同士の事業連携等の成果につながった。



<出展者の声>

- 社会課題解決に向き合うベンチャーにとって、このような巨大イベントに参加できるのは、社会的インパクトを得るために最高峰の機会であった。
- 世界から医療・ヘルスケア系の企業が集まっている場所で、新たな学びや知識を得ることができた。フィンランドを拠点とするAI企業のCEOから、アバター活用でスマホとコミュニケーションすべしというアドバイスを得られた。
- デモ利用でユーザーデータが取得でき、今後のサービス展開に活きる生の声の収集機会が得られた。スタッフの意欲向上にもつながり、今後のサービス改善に向けたヒントやアイデアを複数得ることができた。
- 弊社の技術はまだ認知度が低いため、広めるチャンスをいただけてありがたい。来場者の意見等から企画担当者もアイデアをたくさん思いついた。相乗効果が生まれそうである。

1. 大阪商工会議所の取り組み

(2) 開催決定後の取り組み 3) 機運醸成

①情報発信

■ メール配信

2021年4月～2025年10月、本会議所の役員・議員会社、万博関連事業等の参加者（約5,200件）を対象に、（公社）2025年日本国際博覧会協会や大阪府・大阪市からの入札情報、企業参加メニュー、イベント・パビリオン情報、本会議所事業等の万博関連情報をメールで約740回配信した。

■ SNS・ホームページ

本会議所の2025年日本国際博覧会協力推進本部ホームページやFacebookで万博関連情報を随時発信した。

■ ポスター・パンフレットの配布

（公社）2025年日本国際博覧会協会等が作成したポスターやパンフレットを本会議所で随時配布した。

■ 機関紙「大商ニュース」

本会議所の機関紙「大商ニュース」に見どころ（計27回）や特集記事（計38回）などの万博情報を随時掲載した。

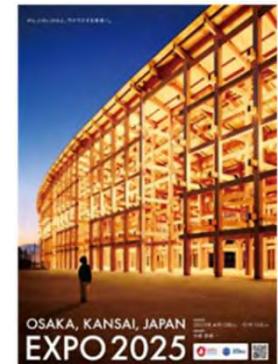


▲ 2024年6月、大商ニュース6月10日号掲載
「見どころ紹介」

■ 企業家ミュージアムでの展示

大阪企業家ミュージアムでは、2024年12月～2025年3月に特別展示「行くぞ大阪・関西万博！懐かしの大坂万博、花博も見せます」を実施した。

また、7月17日、8月1日、8月6日には「万博で活躍した企業家から大阪を知る見学会」、8月7日には講演会「～2025年大阪・関西万博で世界を知ろう～万博170年の歩みと現代社会へのメッセージ」を実施し、それぞれ46人、39人が参加した。



▲半年前キービジュアル（左）、
「大屋根リング」をモチーフとした
キービジュアルのポスター（右）などを
本会議所で随時配布

▲ 2024年11月、大商ニュース11月10日号掲載
「半年前特集」



▲ 2024年12月3日～2025年3月25日
特別展示 ポスター（左）、展示（右）

②万博懇話会の開催

■ 概要

大阪発展を担う若手経営者などの声を定期的に聞き、万博の運営やレガシーとなる活動等に役立てるべく、鳥井信吾本会議所会頭の呼びかけで、2023年5月に万博懇話会を設立した。座長は鳥井信吾会頭、副座長は廣瀬恭子副会頭、メンバーは議員、女性会会員、中小企業、スタートアップ、若者の計12人。

2023年度に4回実施し、「万博に行きたいと思ってもらうには」「万博の価値」等について議論した。2024年6月に同懇話会で出た意見を取りまとめ、石毛博行(公社)2025年日本国際博覧会協会事務総長等に提案した。

■ 構成

座長

大阪商工会議所

会頭

鳥井 信吾

博覧会協会理事・副会長

副座長

大阪商工会議所

副会頭

廣瀬 恭子

博覧会協会理事

メンバー

マツ六(株)

代表取締役社長

松本 将

本会議所議員

(株)カサタニ

代表取締役社長

笠谷 昌宏

本会議所議員

(株)センショナー

代表取締役

堀内 麻祐子

本会議所女性会会員

(株)トウヨウ貿易

代表取締役

岸澤 可乃

本会議所女性会会員

(株)木幡計器製作所

代表取締役社長

木幡 巖

中小企業

(株)北浜化学

取締役経営戦略室長

宮本 正一

中小企業

(株)i-plug

代表取締役CEO

中野 智哉

スタートアップ

(株)Lean on Me

代表取締役

志村 駿介

スタートアップ

(一社)Deep Care Lab

代表理事

川地 真史

若者

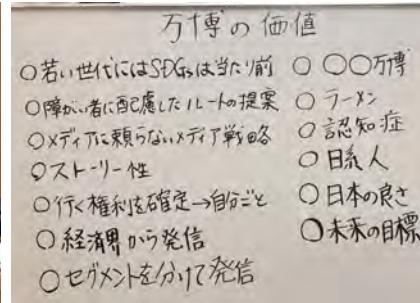
大阪大学大学院基礎工学研究科 博士後期課程

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会

ディレクター

佐久間 洋司

若者



▲2024年6月
石毛博行(公社)2025年日本国際
博覧会協会事務総長へ意見書を提出

▲懇話会での議論

③関西商工会議所連合会での活動

本会議所は、関西商工会議所連合会の会議所事業検討ワーキンググループとして、2022年9月に「2025年大阪・関西万博 機運醸成・企業参画活動ワーキンググループ」を設置し、事務局を務めた。

各商工会議所の会員企業の万博への参加を促進するとともに、万博開催500日前や1年前などの節目にPR強化期間を設定して機運醸成活動を展開。各商工会議所が会館やホームページで万博をPRしたほか、セミナーやイベント等を開催した。また、各SNSを活用して、各商工会議所の会頭が万博への思いを語る「会頭リレートーク」、大阪・関西万博公式キャラクター・ミャクミャクのぬいぐるみを活用した「ミャクミャクが来たよ」キャンペーン等の情報発信も行った。

さらに、全国商工会議所からの万博視察受入れ及び関西の周遊観光促進にも取り組んだ。

<参加会議所>

関西2府5県に所在する関西商工会議所連合会の全71加盟会議所

<オブザーバー>

(公社)2025年日本国際博覧会協会、関西広域連合、近畿経済産業局、近畿地方整備局、近畿運輸局、近畿財務局、大阪国税局、(一社)関西観光本部



▲2023年11～12月、鳥井信吾・本会議所会頭ら
関西の商工会議所会頭が万博への思いをリレートーク



▲2023年11～12月、大阪・関西万博 公式キャラクター「ミャクミャク」の
ぬいぐるみを活用した「ミャクミャクが来たよ」キャンペーン



▲商工会館やイベントで万博をPR

▲2024年2月 全国商工会議所
観光振興大会2024 in 水戸

④全国の商工会議所ネットワークを活用した展開

■ 大阪、名古屋、横浜の3商工会議所包括連携協定の締結

大阪・関西万博、アジア・アジアパラ競技大会、GREEN×EXPO 2027と連続して開催される国際的イベントの機運醸成に向け、本会議所と名古屋・横浜の商工会議所は、2024年9月に包括連携協定を締結した。

小林健日本商工会議所会頭の立ち合いのもと、鳥井信吾本会議所会頭、嶋尾正名古屋商工会議所会頭、上野孝横浜商工会議所会頭が調印式を行った。同協定に基づき、各イベントに関するPR資料やツールの配布等を相互に行なった。



▲ 2024年9月 鳥井信吾本会議所会頭らが出席し、包括連携協定の調印式を実施

■ 共通素材を活用した情報発信

本会議所は、(公社)2025年日本国際博覧会協会や日本商工会議所と連携し、2024年7月から、全国の商工会議所に万博の広報に活用できる共通素材を提供し、各地会議所の会報誌による万博情報発信を促進した(51会議所以上が利用)。

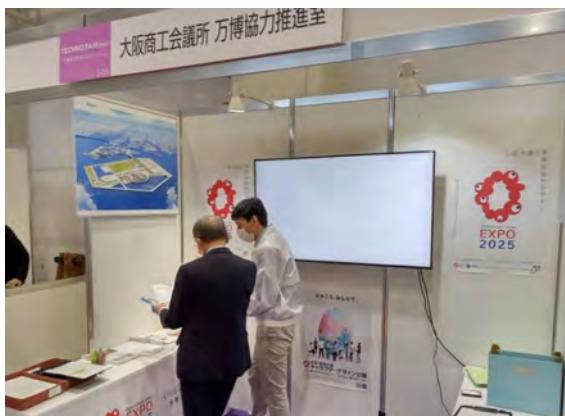
The screenshots show three different local chamber of commerce newsletters from Kyoto, Himeji, and Kurashiki. Each newsletter includes a header with the date '2024年6月号' (June 2024 issue), a main article about the '2025 Osaka-Kansai Expo' with a sub-section on 'Overseas Pavilions Part 3', and a sidebar with various international pavilion profiles. The layout is consistent across all three editions, demonstrating the use of common materials.

▲ 各地会議所が共通素材を活用して万博情報を発信

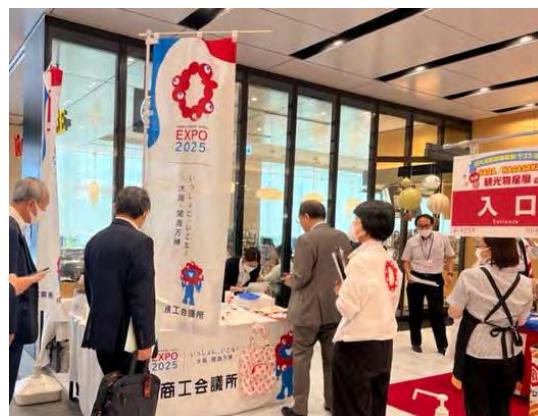
⑤展示会等でのブース出展、イベント等でのPR

■ 展示会等でのブース出展

本会議所や各地商工会議所等の展示会やイベント等40件において、PRブースを出展した。ブースでは、のぼりやテーブルクロス、三角ポップ等で装飾し、来場者へのチラシやシール、ステッカー等の配布、万博に関する説明、質問への対応を行った。



▲ 2021年10月、北陸技術交流テクノフェア



▲ 2022年7月、東京商工会議所



▲ 2023年5月、道頓堀春フェス2023



▲ 2023年12月、会員交流大会

■ イベント等でのPR

本会議所をはじめ各地商工会議所や自治体、金融機関、大学、マスコミ等が主催するシンポジウムやセミナー等87件で、万博に関する講演や説明を行った。



▲ 2023年7月、日経SDGsフェス大阪関西で
立野純三本会議所副会頭が講演



▲ 2023年10月、第55回全国商工会議所
女性会連合会新潟全国大会で
廣瀬恭子本会議所副会頭が登壇

⑥ PRグッズ等の製作・配布、館内の装飾によるPR

■ PRグッズ等の製作・配布

公式ロゴマークや、公式キャラクター「ミャクミャク」を使用したボールペンやミニのぼり、シール、ピンバッジ、卓上三角POPを作成し、本会議所会合やセミナー、イベント等で配布した。

また、のぼりやテーブルクロスを作成し、展示会やイベント、本会議所ビル内等に設置、装飾を行い、PRを行ったほか、ブルゾンやポロシャツを作成して本会議所職員がイベント開催時等に着用し、万博をPRした。



▲ 2023年3月作成
ボールペン

▲ 2022年6月作成
ミニのぼり



▲ 2020年10月作成
ピンバッジ



▲ 2022年6月作成
シール



▲ 2023年5月作成
卓上三角POP

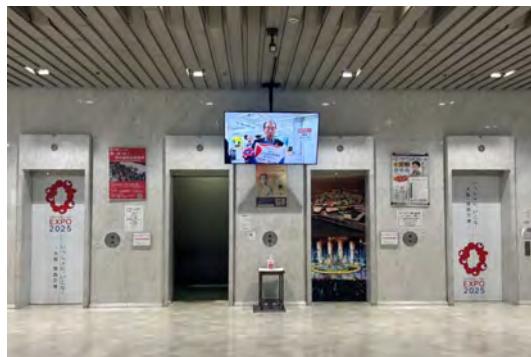
■ 館内の装飾

本会議所1階ロビーでは、2019年8月から万博成功に向けた大看板を設置した。その後も、エレベータードアのラッピング、カウントダウンボードの設置、各種万博グッズの展示、万博関連動画の放映、PRパネル設置等を行い、大々的に万博をPRした。

万博関連動画は本会議所4階エレベーターホールでも放映したほか、館内各所には（公社）2025年日本国際博覧会協会等が作成したポスターの掲示、本会議所が作成したのぼりや卓上三角POPの配置等を行った。



▲ 1階ロビー 受付



▲ 1階エレベーター ラッピング
サイネージでの動画放映



▲ 1階ロビー PRパネル設置

⑦TEAM EXPO2025への協力

■ 共創パートナー・共創チャレンジへの登録

本会議所は2021年1月に、（公社）2025年日本国際博覧会が実施するTEAM EXPO2025プログラム※の共創パートナーに登録し、その後、順次、5件の取り組みを共創チャレンジに登録した。

※TEAM EXPO2025プログラム：万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げていくことを目指す取り組み。

登録年月日	共創チャレンジ名
2021年5月20日	MDF（次世代医療システム産業化フォーラム）
2021年8月3日	MaaS 社会実装推進フォーラム AIビジネス創出アイデアコンテスト
2022年4月8日	大阪ファッショングランプリ産業振興フォーラム
2022年6月27日	関西は中小企業の街！中小企業のSDGs取り組みの発信プロジェクト

▲本会議所が登録した共創チャレンジ一覧

■ Hello! TEAM EXPO 2025 Meetingの開催

本会議所は、大日本印刷(株)及び（公社）2025年日本国際博覧会協会とともに、TEAM EXPO2025プログラムの活動発信や交流促進を目的としたイベント「Hello! TEAM EXPO 2025 Meeting」を2021年4月～2025年9月に全19回開催した。



▲2021年12月、第4回「Hello! TEAM EXPO 2025 Meeting」



▲2023年10月、第13回「Hello! TEAM EXPO 2025 Meeting」

⑧EXPO2025デジタルウォレットの活用

■ 関西周遊NFTスタンプラリーの実施

関西商工会議所連合会「2025年大阪・関西万博 機運醸成ワーキンググループ」（事務局：本会議所）は、万博の開催1年前の2024年4月から万博会期終了まで、（公社）2025年日本国際博覧会協会の公式デジタルウォレットであるEXPO 2025デジタルウォレットを活用した「関西周遊NFTスタンプラリー」を実施した。

万博の機運を醸成するとともに、関西の魅力ある観光施設等への周遊を促進し、広域観光を促進することを目的に4回にわけて実施し、最終的に全48商工会議所（うち関西域外の3会議所（東京、横浜、名古屋）が特別参加）が参加し、1,585個のNFTスタンプが取得された。



▲ EXPO2025デジタルウォレットアプリに掲載されたバナー



▲ 本会議所が配布したNFTスタンプ
(五代友厚像)

■ WEBクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」での記念NFTスタンプ配布

本会議所は、（地独）大阪市博物館機構と共にWEBクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」において、万博を盛り上げるため、2024年5月～2025年10月まで、EXPO2025デジタルウォレットを活用した記念NFTスタンプを参加特典として配布した。同クイズには、全国47都道府県および海外からも参加があり、2024年度は1年間で2,554個、2025年度は半年間で2万1,328個のNFTスタンプが取得された。



▲ EXPO2025デジタルウォレットアプリに掲載されたバナー



▲ 参加特典として配布されたNFTスタンプ

1. 大阪商工会議所の取り組み

(2) 開催決定後の取り組み 4) おもてなし

①全国商工会議所の視察受け入れ

関西商工会議所連合会「2025年大阪・関西万博 機運醸成ワーキンググループ」（事務局：本会議所）は、万博の機運醸成と来場促進に向け2024年4月に同連合会のホームページ内に特設ページを開設し、全国515商工会議所が事務局を務める部会・委員会等による団体視察を受け入れた。

■ 会期前視察

2024年4月～2025年3月、全国23商工会議所からの会期前視察を受け入れた。万博の概要や本会議所の万博に向けた取り組みを本会議所等で説明したほか、希望に応じて、（公社）2025年日本国際博覧会協会の協力により万博建設会場の眺望視察を行った。



▲ 2024年11月、厚木商工会議所
異業種交流会



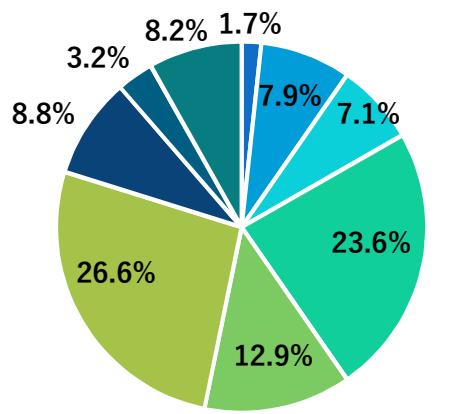
▲ 2025年1月、下館商工会議所
サービス観光部会・産業経済サービス部会

■ 会期中視察

会期中、全国47都道府県の商工会議所から499団体・1万3,653人が万博に来場し、うち466団体・1万2,487人の視察を受け入れた。

会場へのアクセスや会場内施設などに関する基本情報を提供したほか、視察参加者全員に記念品を贈呈。当日は、本会議所職員延べ696人が視察団を出迎え、入場をサポートした。

▼全国商工会議所からの視察受け入れ（地域別）



■ 北海道
■ 関東
■ 中国

■ 東北
■ 東海
■ 四国

■ 北陸信越
■ 関西
■ 九州・沖縄



▲ 2025年4月、日本商工会議所
移動常議員会・議員総会後のエクスカーション



▲会期中、視察団に配布した記念品

②大阪まちごと万博共創プラットフォームの運営

万博会場外も含めた大阪の魅力を発信し、都市ブランドと国際競争力を強化するため、本会議所が呼びかけ、2024年4月に「大阪まちごと万博共創プラットフォーム」（構成団体：本会議所、大阪府・大阪市万博推進局、（公社）関西経済連合会、（一社）関西経済同友会、共働：（一社）demoexpo）をスタートした。



■ 公式サイト「まちごと万博」の運営

万博をきっかけに生まれる面白い「イベント」や「プロジェクト」、万博を機に何かにチャレンジする「人（ピープル）」などを登録し、公式サイト「まちごと万博」で紹介。

万博閉幕までにプロジェクト87件、ピープル90件、イベント117件を掲載した。

また、特徴的な取り組みを取り組みを取材した特集記事16件を公式サイトで情報発信した。



▲公式サイト「まちごと万博」

■ 共創促進イベントの開催

2024年8・10月に「大阪まちごと万博交流会」を開催。まちなかでの取り組みが注目を集める梅田、なんば、天王寺、中之島等での万博に向けた取り組みやエリアの活用方法を紹介し、参加者との意見交換や共創の機会を提供した。

同年12月には「まちごと万博決起集会」を開催。鳥井信吾本会議所会頭が登壇し、まちなかと万博会場をつなぐ方法を議論するとともに、まちごと万博登録者がプロジェクトを紹介し、参加者同士の共創を促進した。



▲2024年12月
まちごと万博決起集会

■ 万博会場内でのPR活動

大阪府・大阪市万博推進局、大阪都市計画局と連携し、万博会場で開催された大阪府・大阪市主催の「大阪ウィーク」（5・7・9月）において、まちごと万博の映像投影を行った。

6月には、（一社）大阪青年会議所が大阪ヘルスケアパビリオンのリボーンステージで開催したイベントに、まちごと万博のブースを出展した。

各地商工会議所や海外機関による万博会場視察時に贈呈した記念品には、まちごと万博ロゴをデザインしたトートバッグを配布（1万1,553セット）し、取り組みをPRした。



▲2025年5月
万博会場での映像投影

③ 「くうぞ、万博。」プロジェクトの実施

大阪・関西万博の機会を捉え、多様で実力ある飲食店が集積する大阪の食の魅力を国内外に発信するため、「万博メニューでおもてなし」と「大阪まちごとバル」の2つの取り組みを展開した。

主催： 本会議所、(公財) 大阪観光局、
(一社) 大阪外食産業協会
協力： (一社) 日本コナモン協会



■ 万博メニューでおもてなし

飲食・食品事業者に万博にちなんだメニュー（万博メニュー）の考案・販売を呼びかけ、インスタグラムに投稿してもらうことで、万博の機運醸成や万博来場者のまちなかの飲食店等への来店促進に取り組んだ。

募集期間中（2024年6月～2025年9月）に世界や大阪の名物料理、ヴィーガン対応やフードロス削減等に着想した148メニューが122事業者からエントリーされた。これらのメニューはインスタグラムから「#2025万博メニュー」で検索できる。



▲万博のテーマ「いのち」をイメージした「トロピカルフルーツのジュレ寄せ～生命の源と未来の地球～」
提供:ブルックリンパーラー(中央区)



▲公式キャラクターを職人が1つ1つ手作りした「ミャクミャクゼリー」
提供:みどり製菓㈱(東住吉区)
※公式ライセンス商品



▲メキシコ料理のトルティーヤと大阪名物たこ焼きを組み合わせ、片手で食べられる「多国籍！タコ焼きロール」
提供:(株)エイチ・ツー・オー商業開発(西成区)



▲四季折々の大阪産食材を使い世界へ大阪の食文化を発信した「なにわイタリアンコース」
提供:ニシデリア(中央区)

■ 大阪まちごとバル

国内外から来阪する観光客の周遊分散を目指し、大阪のまち全体を1つのバルと見立て、府内の飲食街をエリアごとにプロモーションする取り組み。あまり知られていないおすすめグルメスポットやまち歩きのモデルコースを紹介するショート動画32本（2025年10月13日時点）を制作して、本会議所インスタグラム (osaka_cci) に投稿した。



④商店街集客事業 「商店街で朝食を」の実施

万博にあわせて国内外から来阪される多くの方に、大阪の魅力を楽しんでもらうため、2025年4月から、「朝の商店街」にスポットをあて、本会議所、大阪市商店会総連盟、Airbnb Japan(株)は、デジタル朝食マップの作成やチラシ・紹介冊子の配布、商店街でのPRイベントを実施した。

■ ホームページ、大阪市24区デジタル朝食マップ

各商店街で地元の人が訪れる喫茶店等、魅力的な店舗に観光客を誘導するため、大阪市内の朝食を楽しめるお店をまとめたホームページとデジタルマップ（日本語/英語対応）を作成した。

SNSを用いながら国内外から訪れる観光客に向けて、商店街の朝食情報を発信し、参加店舗は計73店舗に上った。



▲大阪市24区デジタル朝食マップ
◀ホームページ

■ 紹介冊子の作成、配布

地域の方々のおすすめに基づいた、大阪市内の朝食が食べられるお店を紹介する冊子を2025年10月に600部作成し、Airbnb Japan(株)に登録する宿泊施設などで配布した。



▲紹介冊子

■ 商店街でのPRイベント

本会議所と市内商店街で実施する「100円商店街」等と連携し、「朝」「食」「商店街」の魅力を発信するイベントを実施。2025年4~10月に、6カ所の商店街で計6回、ブース出展を行った。



▲2025年6月
野田新橋筋商店街PRイベント
ブース出展の様子



▲PRチラシ

1. 大阪商工会議所の取り組み

(2) 開催決定後の取り組み 5) 海外との交流

①ナショナルデー・スペシャルデーイベントへの参加

■ 公式式典、午餐会・晚餐会

(公社) 2025年日本国際博覧会協会による主催で、万博の公式参加国・地域や国際機関が開催するナショナルデー（国・地域）やスペシャルデー（国際機関）に、本会議所正副会頭や幹部が計47回出席した。

【本会議所から出席した国・地域、国際機関】（開催日順）

イスラエル、デンマーク、パラオ、ポルトガル、EU、チリ、韓国、スウェーデン、スペイン、カナダ、ラトビア、オランダ、英国、ハンガリー、タンザニア、モンテネグロ、インドネシア、アイスランド、ルクセンブルク、フィリピン、フィンランド、アイルランド、アルジェリア、中国、ジンバブエ、米国、コロンビア、エジプト、チェコ、キューバ、アンゴラ、中央アフリカ、アセアン、パキスタン、インド、タイ、シンガポール、ベナン、モルドバ、マレーシア、ベトナム、フランス、フィジー、ポーランド、ウガンダ、カーボベルデ、BIE

<公式式典>

会 場：EXPOナショナルデーホール「レイガーデン」
内 容：代表者による挨拶、国旗掲揚、文化パフォーマンス等

<午餐会・晚餐会>

会 場：迎賓館
内 容：着席形式の昼食会・夕食会
参加者：政府・行政・経済界関係者



▲ 2025年4月、パラオナショナルデー公式式典



▲ 2025年10月、BIEスペシャルデー午餐会

■ 各国主催イベント

ナショナルデー（国・地域）やスペシャルデー（国際機関）にあわせて、各国・地域、国際機関がレセプション等のイベントを主催。本会議所正副会頭や幹部が計15回出席した。

【本会議所から出席した国・地域・国際機関】（開催日順）

グレナダ、トルコ、韓国、スウェーデン、スペイン、ラトビア、オランダ、英国、オーストリア、ルクセンブルク、フィンランド、タジキスタン、米国、スリランカ、ウガンダ

②各國主催イベントへの参加・開催協力

万博会期中、各國機関が実施した計311件のセミナー・商談会・交流会について、広報や申込み受付等をサポートしたほか、必要に応じて、共催や個別マッチングも行った。



▲ 2025年5月、Korea- Japan Business Connect



▲ 2025年7月、フィリピン 投資セミナー・商談会

実施日	セミナー・商談会・交流会（主なものを抜粋）
4月24日	デンマーク企業団との交流会
5月12日	Korea- Japan Business Connect（韓国企業との交流会）
5月12日	深圳市ウィーク日中企業経済交流会
5月16日	ベトナム企業経営者とのビジネス交流会
5月27日	ラオス企業経営者・幹部との企業連携のためのビジネス交流会 in 大阪
6月27日	マレーシア グローバル・バイヤーズ with マレーシア食品・飲料メーカー
7月8日	タイ ビューティー&ウェルネス製品商談会
7月9日	フィリピン 投資セミナー・商談会
8月12日	マレーシアビジネス商談会
8月29日	モルドバ／ルーマニア セミナー&商談会 in 大阪
9月1日	イタリア セミナー・B2Bミーティング
9月4日	韓国輸入企業との商談会
9月4日	英国 ビジネスフォーラム&個別商談会
9月8日	日本・インドネシアビジネスフォーラム
9月9日	ベトナム企業と日本企業の商談会 in Osaka 2025
9月26日	スリランカ ビジネスフォーラム・交流会

③連携協定・覚書の締結

万博会期中、ナショナルデーを機に来阪した各国の20機関と連携協定（MOA）や協力覚書（MOU）を締結し、これまで連携のあった機関とはさらなる協力関係の強化を図り、交流がなかった国とは今後の可能性を広げた。



▲ 2025年6月、マンチェスター投資促進機関(英国)



▲ 2025年7月、モンゴル商工会議所

締結日	国・地域	機関名	本会議所締結者
4月17日	香港	香港貿易発展局	鳥井信吾会頭
5月20日	イタリア	ローマ商工会議所	鳥井信吾会頭
5月21日	ラトビア	ラトビア商工会議所	近藤博宣常務理事
6月19日	ウガンダ	ウガンダフリーゾーン輸出促進庁	更家悠介常議員
6月12日	コートジボワール	コートジボワール商工会議所	近藤博宣常務理事
6月18日	英国	マンチェスター投資促進機関	鳥井信吾会頭
6月26日	タジキスタン	タジキスタン共和国商工会議所	近藤博宣常務理事
7月1日	レソト	レソト商工会議所	近藤博宣常務理事
7月10日	中国	中国国際貿易促進委員会陝西省分会	岡広史中国ビジネス委員長
7月24日	キューバ	キューバ商工会議所	近藤博宣常務理事
7月27日	モンゴル	モンゴル商工会議所	鳥井信吾会頭
7月28日	中国	中国国際貿易促進委員会日照市委員会	岡広史中国ビジネス委員長
8月19日	中国	中国国際貿易促進委員会黒竜江省委員会	岡広史中国ビジネス委員長
8月19日	トーゴ	トーゴ商工会議所	立野純三副会頭
8月28日	ベナン	ベナン共和国商工会議所	近藤博宣常務理事
8月29日	モルドバ	モルドバ共和国商工会議所	立野純三副会頭
9月4日	英国	テムズバレー商工会議所	鳥井信吾会頭
9月6日	パナマ	パナマ商工・農業会議所	廣瀬恭子副会頭
9月24日	香港	香港工業総会	岡広史中国ビジネス委員長
10月10日	エスワティニ	エスワティニ王国貿易投資促進局	井内撮男専務理事

④表敬訪問・視察団の受け入れ

万博会期中、96件の表敬訪問・意見交換・ブリーフィング対応を実施した。うち、本会議所正副会頭は21件（16カ国・地域）に対応した。



▲ 2025年6月
アセアンビジネス諮問評議会



▲ 2025年9月
フランス・ヴァルドワーズ商工会議所

実施日	国／地域	主な訪問者	本会議所対応者
4月14日	アセアン	事務総長	廣瀬恭子副会頭
4月15日	オーストラリア	外務貿易省次官	廣瀬恭子副会頭
4月17日	中国・香港	貿易発展局総裁	鳥井信吾会頭
4月30日	中国	国際貿易促進委員会副会長	鳥井信吾会頭 岡広史中国ビジネス委員長
5月2日	ブータン	ブータン商工会議所会頭	立野純三副会頭
5月20日	イタリア	ローマ商工会議所会頭	鳥井信吾会頭
5月21日	ラトビア	ラトビア商工会議所	廣瀬恭子副会頭
6月2日	アジア	アジア商工会議所連合会（CACCI）会長	相良暁副会頭
6月3日	アセアン	ASEAN-BAC（アセアンビジネス諮問評議会）議長	鳥井信吾会頭、廣瀬恭子副会頭 森島弘光国際ビジネス委員長
6月18日	英国	グレーター・マンチェスター市長	鳥井信吾会頭 森島弘光国際ビジネス委員長
6月25日	カナダ	ケベック州国際関係・フランス語圏担当大臣	廣瀬恭子副会頭
7月9日	フィリピン	フィリピン商工会議所会頭	鳥井信吾会頭、廣瀬恭子副会頭
9月8日	スウェーデン	ヴェステルボッテン県知事	鳥井信吾会頭
9月12日	中国	国際貿易促進委員会副会長	鳥井信吾会頭
9月13日	フランス	パリ・イルドフランス商工会議所会頭	鳥井信吾会頭
9月16日	フランス	ヴァルドワーズ商工会議所会頭	鳥井信吾会頭
9月22日	欧州	ESM（欧州安定メカニズム）最高経営責任者	東和浩副会頭
9月22日	オランダ	外務省国際経済関係担当副大臣	相良暁副会頭
10月2日	中国	国際貿易促進委員会副会長	鳥井信吾会頭
10月7日	ウガンダ	貿易・産業・協同組合省大臣	鳥井信吾会頭
10月9日	ルクセンブルク	ルクセンブルク商業会議所会頭	鳥井信吾会頭

⑤大阪海外ビジネスワンストップ窓口の設置

万博にあわせて海外から来日・来阪する視察団が、日本企業とのビジネス交流を円滑に進められるよう、本会議所は、大阪府、大阪市、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)大阪本部とともに、2024年4月から「大阪海外ビジネスワンストップ窓口」を設置した。

同窓口の開設以降、構成団体が個別で対応した案件を含めると計1,119件（内訳：窓口支援受付件数209件、構成団体個別対応報告件数755件、その他〔出張相談ベースでの口頭相談含む〕155件）の相談・問い合わせに対応した（2025年10月13日時点）。

名称：大阪海外ビジネスワンストップ窓口
(Osaka One Stop Business Service Desk)

設置日：2024年4月15日

対応内容：以下の相談・問い合わせに対応（日本語・英語）

- ・外国公的機関等が実施するビジネスイベント開催支援
- ・外国公的機関等が必要とする企業訪問・視察先の情報提供 等

対象：各国大使館・領事館、各州政府・市政府、各商工会議所等

構成団体：大阪府、大阪市、本会議所、(公社)関西経済連合会、(一社)関西経済同友会、(公財)大阪産業局、近畿経済産業局、(独)中小企業基盤整備機構近畿本部、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)大阪本部 ※窓口運営事務局

Osaka One-Stop Business Service Desk

We encourage foreign public/private agencies to contact us if planning business events or sending delegations to Osaka, Kansai on the occasion of EXPO 2025.

Osaka Prefecture, City of Osaka, and Constituent organizations in Osaka will work together to provide extensive support through the "Osaka One-Stop Business Service Desk."

Organizers

Osaka Prefecture Government
Osaka City
JETRO Osaka

Constituent Organizations

OCCA 大阪商工會議所
Kansai Economic Federation
METI
SME SUPPORT JAPAN

Overview of Osaka One-Stop Business Service Desk

In alignment with the opportunity of EXPO 2025, our service aims to help international counterparts who are planning business delegation visits to Osaka, and also promote business exchanges with Osaka-based companies.

Support for Holding Business Event

- Provision of necessary information for hosting events (e.g., offering venue options)
- Promotion of event details to Osaka companies

Support for Visits to Companies and Industrial Facilities

- Consultation on selecting sites to visit
- Provision of information on companies and public facilities that accept visitors

*Please note that we do not provide consultation to individual companies regarding their business. We will not cover the costs of business events, site visits, etc.

Eligible Parties

Embassies and consulates, state and municipal governments, as well as business organizations, such as chambers of commerce and industry that plan on sending business delegations to Osaka.

STEPS on how to use our service

- Start Consultation
- Consultant Support
- Introduction to Partners

To contact us, please refer to the telephone and email details listed below. *Available in English.

Our consultants will ask you about business-related matters concerning your plans, expectations, etc.

To organize events and company visits, we can introduce you to potential partners, as well as relevant private services.

*Please note that we may not be able to respond to all requests.

Inquiries

Osaka One-Stop Business Service Desk (in JETRO Osaka Office)
https://www.jetro.go.jp/en/osaka_bsd/

▲ワンストップ窓口チラシ

⑥日本アセアンビジネス促進プラットフォーム (代表者会議、シンポジウム、視察会) の実施

万博にあわせて、本会議所は、日本アセアンビジネス促進プラットフォーム※(AJBプラットフォーム)に参画する各国代表者を大阪へ招聘し、代表者会議にて今後の連携内容等を議論した。また、記念シンポジウムや、万博の視察会も行った。

※日本アセアンビジネス促進プラットフォーム：日アセアン友好協力50周年(2023年)を機に、両地域の一層のビジネス拡大と経済関係の強化を目指し、本会議所及びアセアン各国の経済団体が設置。

■ 代表者会議

開催日：4月21日

場 所：本会議所 会議室

参加者：AJBプラットフォーム参画国代表者(インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、大阪)

本会議所からは、鳥井信吾会頭、立野純三・東和浩・黒田章裕・廣瀬恭子副会頭、森島国際ビジネス委員長が出席

内 容：「販路開拓」「スタートアップ」「グリーン」における取り組みを継続することに加え、日アセアン間の「人材」に関して交流・育成の取り組みを進めることに合意し、鳥井信吾本会議所会頭ら各国の代表が「共同宣言」を採択した。



▲ 2025年4月、各国会議所代表との意見交換、共同宣言の採択

■ EXPO2025記念シンポジウム～日アセアンの未来～

開催日：4月21日

場 所：本会議所 国際会議ホール

参加者：626人(会場406人、オンライン220人)

本会議所からは、鳥井信吾会頭、立野純三・東和浩・黒田章裕・廣瀬恭子副会頭、森島国際ビジネス委員長が参加

主 催：AJBプラットフォーム(事務局：本会議所)、日本経済新聞社

内 容：日本やアセアンで活躍する企業代表者等が基調講演及びパネルディスカッションに登壇。大阪・関西ひいては日本企業とアセアン各国との連携のヒントを探るとともに、今後の共創や課題解決に向けて議論した。冒頭、カオキムホン・アセアン事務総長、古賀友一郎経済産業副大臣からメッセージが寄せられた。



▲ 2025年4月、シンポジウム

■ 観察会

開催日：4月21日

参加者：AJBプラットフォーム参画国代表者等

本会議所からは、鳥井信吾会頭、立野純三副会頭、森島国際ビジネス委員長が参加

内 容：AJB連携会議所幹部、鳥井信吾本会議所会頭が万博会場を訪問し、日本館、大阪ヘルスケアパビリオン、水上ショー「アオと夜の虹のパレード」を観察した。水素燃料電池船「まほろば」に乗船し、大阪市内中心部へ移動した。



▲ 2025年4月
日本館見学時のメディアによる取材

⑦大阪ウェルカムレセプションの開催

万博の公式参加者を歓迎するため、大阪府・大阪市、関西経済3団体はレセプションを開催し、パビリオン関係者等約600人が参加した。当日は、大阪ヘルスケアパビリオンのリボーンチャレンジ「ウェルネスを実現するテクノロジーと空間」（実施主体：本会議所）の参加企業と大阪外国企業誘致センター（事務局：本会議所）が共同でブースを出展し、大阪の中小企業・スタートアップの技術力をアピールした。

開催日：4月15日

場 所：ホテルニューオータニ大阪・2階 鳳凰の間

主 催：大阪府、大阪市

共 催：本会議所、(公社)関西経済連合会、(一社)関西経済同友会

参加者：約600人（公式参加国・地域、国際機関の代表、在関西総領事等）

※本会議所から、鳥井信吾会頭、立野純三副会頭、廣瀬恭子副会頭、吉田昌功副会頭、井内摂男専務理事が参加した。

主なプログラム：ご挨拶	吉村洋文大阪府知事、 ディミトリ・ケルケンツェスBIE事務局長 等
鏡開き	主催・共催者、来賓等
乾 杯	鳥井信吾本会議所会頭
閉会挨拶	横山英幸大阪市長



▲鳥井信吾本会議所会頭による乾杯発声



▲参加者と歓談する鳥井信吾本会議所会頭

⑧Global MedTech EXPO 2025 in Japanの開催

万博を契機に、国内外のメドテック分野のスタートアップ支援機能を強化し、グローバルエコシステムの構築を目指すため、本会議所は2025年9月に、「Global MedTech EXPO 2025 in Japan」として、GLOBAL PITCH SHOWDOWN、GLOBAL NAVIGATOR JAPANを行った。

■ GLOBAL PITCH SHOWDOWN

9月16日にグランキューブ大阪で開催したGLOBAL PITCH SHOWDOWN の世界決勝は、本会議所とメドテック分野の世界的なスタートアップ支援機関「MedTech Actuator」が主催し、国内外21カ国106社から選抜された7カ国8社が登壇した。

メドテック分野のビジネス創出に必要なグローバル・エコシステム構築に向けたコミュニティづくりを目指し、国内外の関連省庁幹部、駐日各国公館の代表、国内外の投資家、医療関連企業の役員、医師、研究者ら280人が参加した。

<プログラム>

- ・開会挨拶 烏井信吾本会議所会頭
- ・乾杯発声挨拶 経済産業省 南亮 商務・サービス審議官
- ・各国代表企業のピッチコンテスト
- ・メドテックスタートアップ8社による
ピッチコンテスト（写真中段右）
審査（写真下段）、表彰式（写真上段）、
ネットワーキングセッション
- ・閉会挨拶 相良暁本会議所副会頭（写真中段左）



▲ GLOBAL PITCH SHOWDOWN
世界決勝

■ GLOBAL NAVIGATOR JAPAN

9月16~19日に、国内外のスタートアップを対象に、日本の市場、規制、保険制度、承認制度、医療の仕組み等について解説するGLOBAL NAVIGATOR JAPANを実施した。医療現場視察や、KOL（キーオピニオンリーダー）とのマッチング等も行い、日本市場も見据えた事業化を後押しした。GLOBAL PITCH SHOWDOWNの参加企業を中心に9か国・地域11社のスタートアップが参加した。

<プログラム>

- 9月16日 専門家によるレクチャー 1 on 1 ミーティング（中之島クロス）（写真下左）
9月17日 京都プログラム（写真下中）
〈訪問概要〉京都大学、株島津製作所、アークレイ（株）
9月18日 大阪・関西万博 視察
9月19日 大阪プログラム（写真下右）
〈訪問概要〉国立循環器病研究センター、エア・ウォーター健都、大阪大学



▲上野裕明本会議所ライフサイエンス
振興委員長がプログラムの意義を説明



1. 大阪商工会議所の取り組み

(2) 開催決定後の取り組み 6) 委員等の就任状況

本会議所は、(公社)2025年日本国際博覧会協会をはじめとする万博関連組織の委員等に鳥井信吾本会議所会頭をはじめ多数就任し、意思決定に参画した。

■ (公社) 2025年日本国際博覧会協会

(発足時2019年1月(一社)、同年10月から(公社))

社員団体：本会議所、(一社)日本経済団体連合会、(公社)経済同友会、日本商工会議所、大阪府、大阪市、関西広域連合、(公社)関西経済連合会、(一社)関西経済同友会、京都、神戸の各商工会議所

委員会等	役職名	本会議所の就任状況
理事会	副会長・理事	尾崎裕会頭(2019年1月30日~2022年3月29日) 鳥井信吾会頭(2022年4月11日~現在)
	理事	廣瀬恭子副会頭(2021年9月13日~現在)
財務委員会	副委員長	尾崎裕会頭(2019年10月23日~2022年3月29日) 鳥井信吾会頭(2022年12月22日~現在)
財務委員会実行委員会	委員	宮城勉専務理事(2019年10月23日~2023年3月30日) 井内摂男専務理事(2023年4月1日~現在)
機運醸成委員会	副委員長	鳥井信吾会頭(2023年4月26日~現在)
	副委員長	廣瀬恭子副会頭(2023年4月26日~現在)
機運醸成委員会幹事会	委員	井内摂男専務理事(2023年4月26日~現在)
運営費執行管理会議	委員	鳥井信吾会頭(2024年2月~2025年11月4日)
	委員	廣瀬恭子副会頭(2024年2月~2025年11月4日)
来場者輸送対策協議会	構成員	楠本浩司地域振興部部長(2021年7月30日~2023年3月31日)、 玉川弘子地域振興部長兼万博協力推進室長(2023年4月1日 ~2025年3月31日)、玉川弘子理事・地域振興部長兼万博協力 推進室長(2025年4月1日~現在)

■ その他

委員会等	役職名	本会議所の就任状況
2025年日本国際博覧会 大阪パビリオン推進委員会	顧問	尾崎裕会頭(2021年2月16日~2022年3月29日) 鳥井信吾会議所会頭(2022年3月29日~現在)
(公社)2025年日本国際 博覧会大阪パビリオン	社員	本会議所(2019年7月22日~現在) ※発足時2019年7月(一社)、2023年10月から(公社)
中小・スタートアップ 出展企画推進委員会	委員長	立野純三副会頭(2021年8月23日~現在)
中小・スタートアップ 出展企画推進委員会幹事会	副委員長	近藤博宣常務理事・事務局長(2021年8月23日~現在)
2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議	委員	鳥井信吾会頭(2022年12月27日~現在)
2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議幹事会	幹事	楠本浩司地域振興部部長(2021年7月30日~2023年3月31日)、 玉川弘子地域振興部長兼万博協力推進室長(2023年4月1日 ~2025年3月31日)、玉川弘子理事・地域振興部長兼万博協力 推進室長(2025年4月1日~現在)

2. 会員企業アンケート

2. 会員企業アンケート

■調査概要

調査目的 万博が地域経済・各社の事業活動に与えた影響を把握し、今後の参考とするため。

調査期間 2025年10月1日（水）～13日（月・祝）

調査対象 会員企業3,135社

調査方法 Eメールで調査協力を依頼。ウェブフォームで回答を受付。

有効回答数 234社（有効回答率7.5%）

【回答企業内訳】

資本金		
1000万円以下	79	33.8%
1000万円超～5000万円以下	69	29.5%
5000万円超～3億円以下	35	15.0%
3億円超	51	21.8%
総計	234	100.0%

従業員数		
5人以下	57	24.4%
6～20人	44	18.8%
21～50人	33	14.1%
51～300人	32	14.1%
301人以上	68	29.1%
総計	234	100.0%

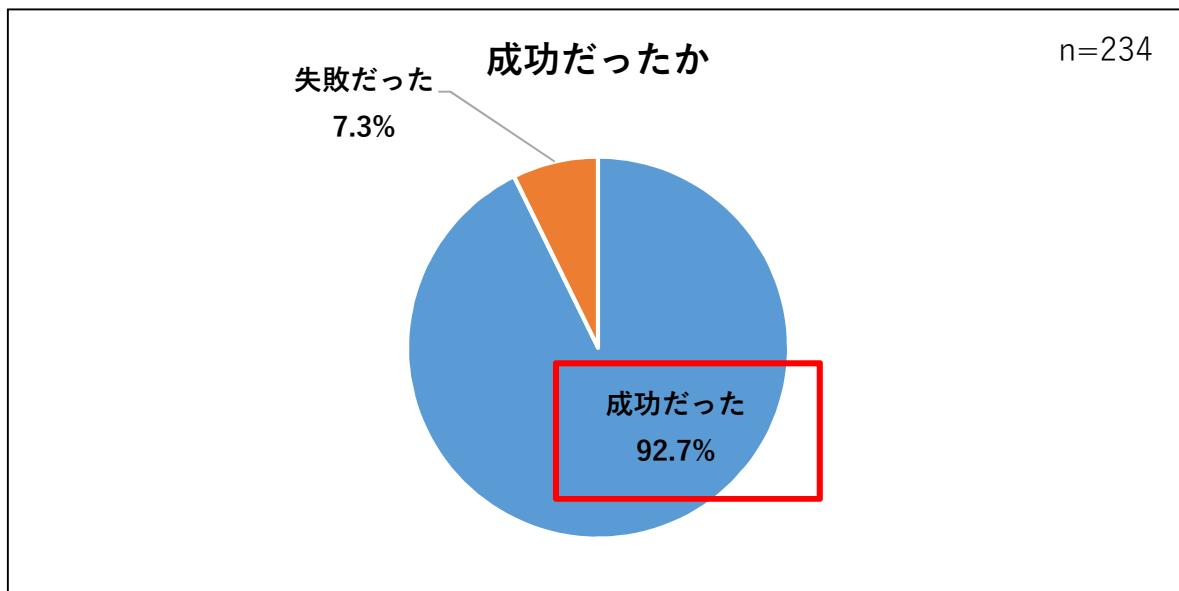
業種		
製造業	59	25.2%
卸売・小売業	53	22.6%
建設・不動産業	39	16.7%
サービス業	51	21.8%
その他	32	13.7%
総計	234	100.0%

※端数処理（小数点以下第2位で四捨五入）の関係で、単一回答の設問にて数値の合計が100にならない場合がある。

1. 現時点で、万博は地域にとって成功だったと思うか

(単数回答)

- 9割以上の企業が「成功だった」と回答。
- 規模別では資本金5000万円以上、業種別では建設・不動産業の企業の100%が「成功だった」と回答。



【規模別】

回答	1000万円以下	1000万円超～5000万円以下	5000万円超～3億円以下	3億円以上	総計
成功だった	82.3%	95.5%	100.0%	100.0%	92.4%
失敗だった	17.7%	4.5%	0.0%	0.0%	7.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【業種別】

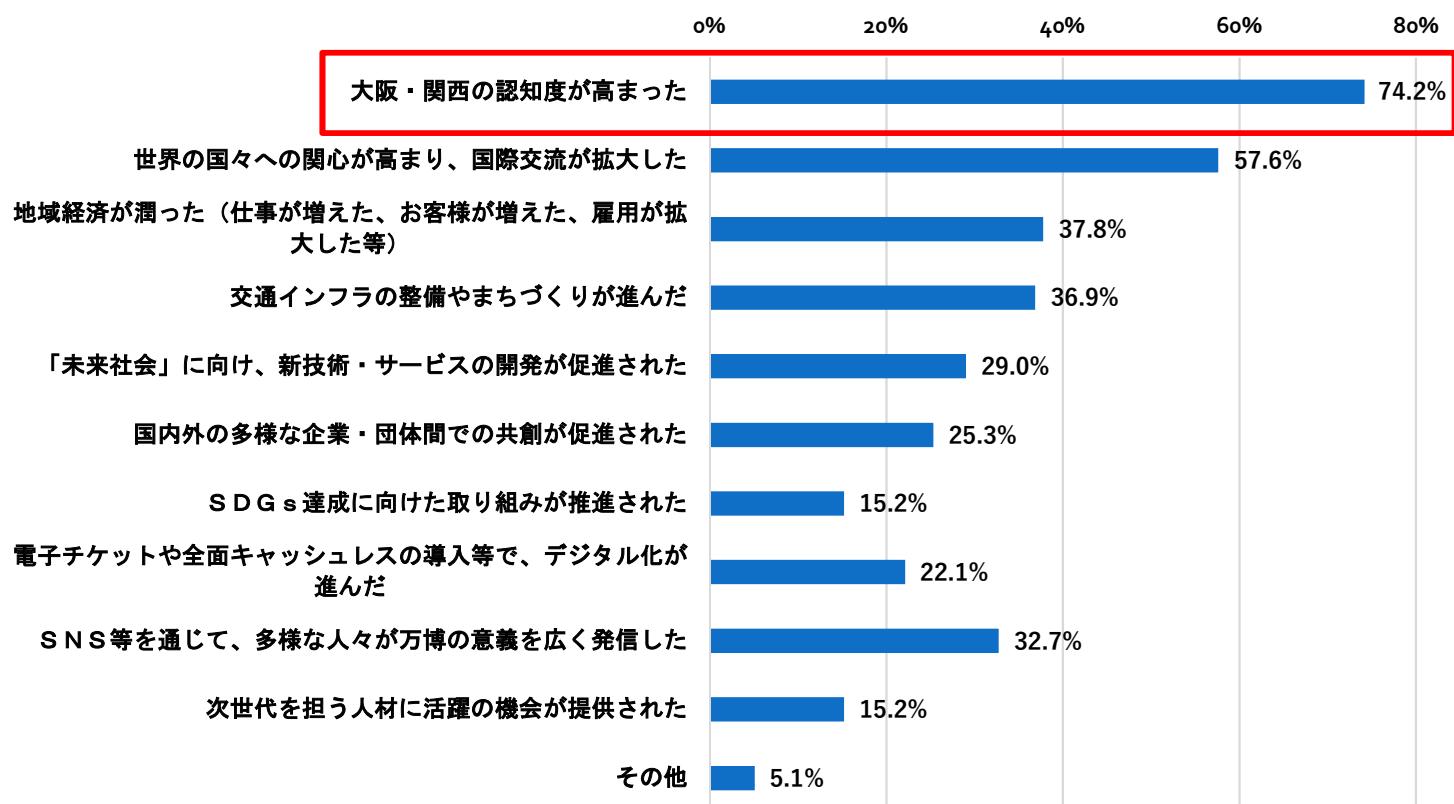
回答	製造業	卸売・小売業	建設・不動産業	サービス業	その他	総計
成功だった	94.8%	94.2%	100.0%	83.3%	90.0%	92.4%
失敗だった	5.2%	5.8%	0.0%	16.7%	10.0%	7.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

1－2. 「成功だった」理由と「失敗だった」理由（複数回答）

- 成功だった理由は、「大阪・関西の認知度が高まった」が最多で7割超にのぼった。
- 「地域経済が潤った」（37.8%）「交通インフラの整備やまちづくりが進んだ」（36.9%）など実利的な理由をあげる回答も多かった。

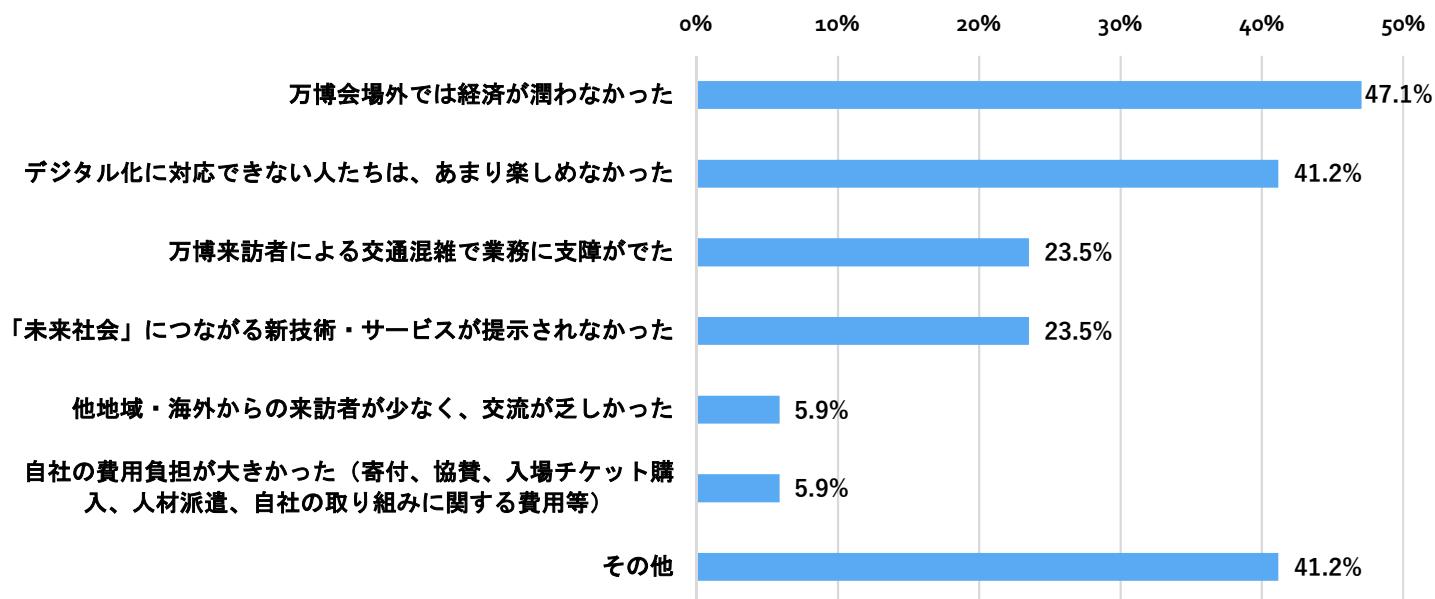
「成功だった」と回答した理由

n=217



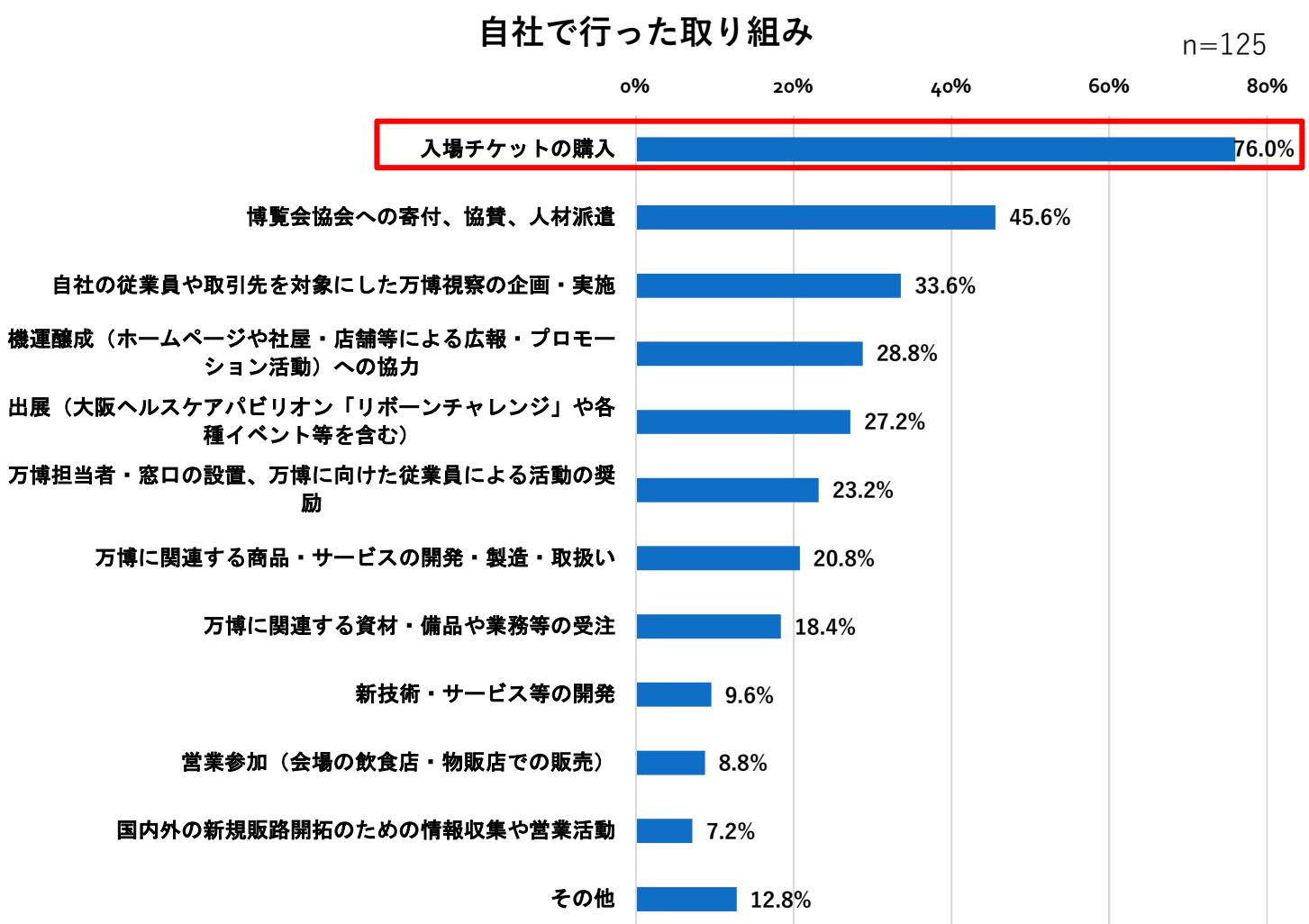
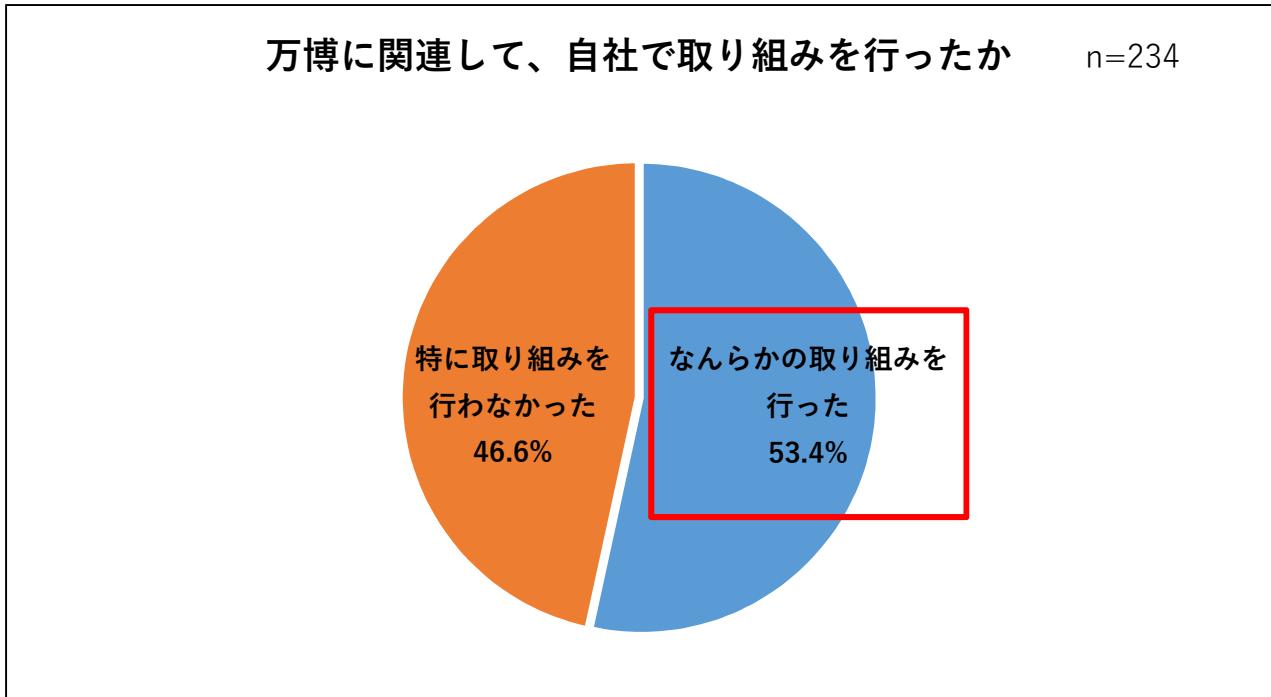
「失敗だった」と回答した理由

n=17



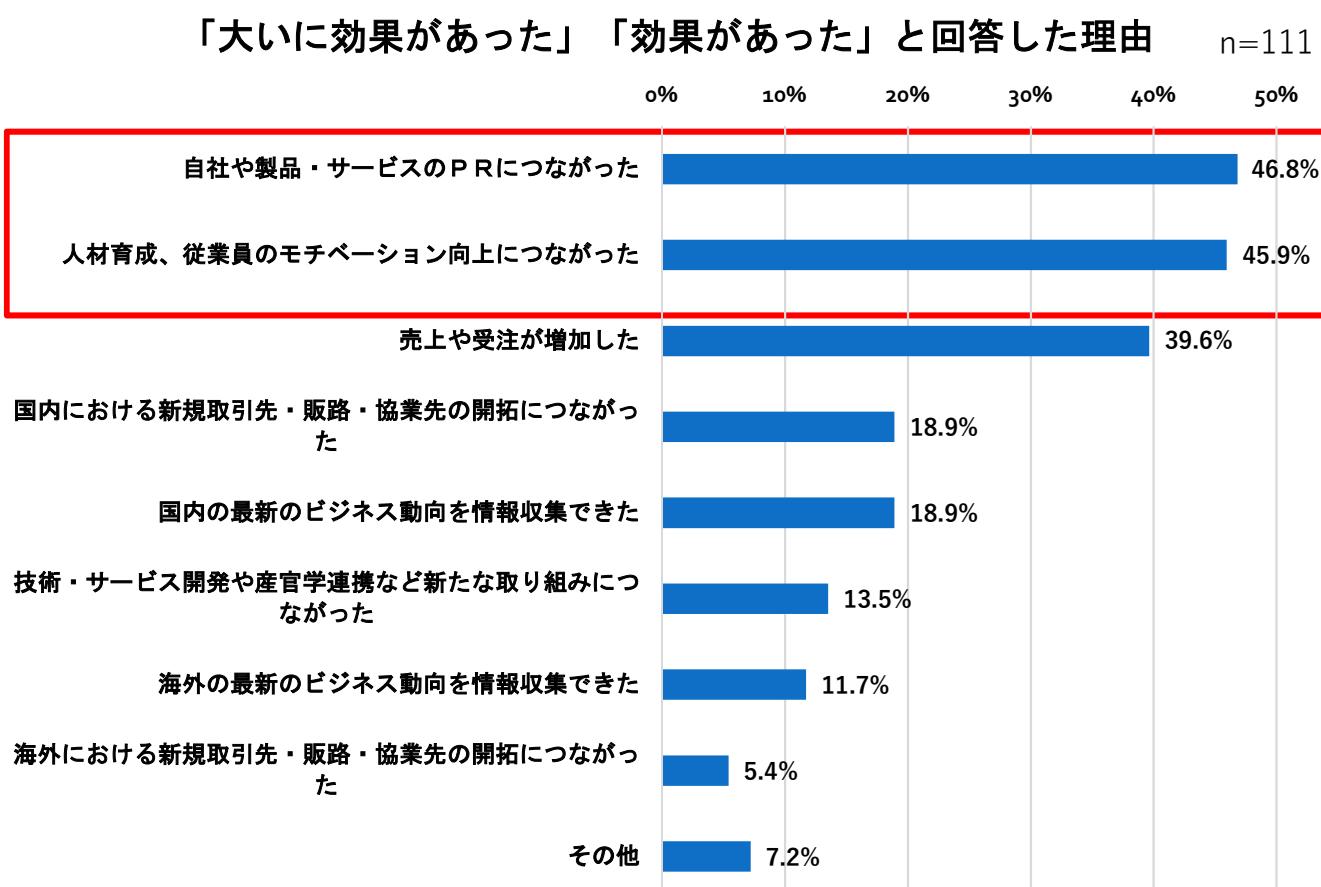
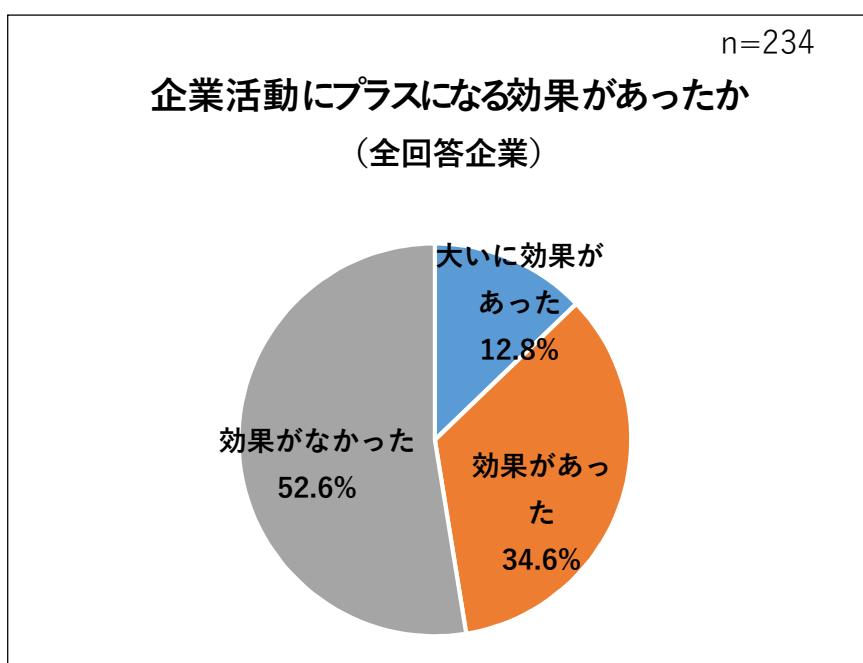
2. 万博に関連して、自社で取り組みを行ったか（単数回答）

- 半数以上（53.4%）の企業が、万博に関連した取り組みを行ったと回答。
- 取り組みの内容は、「入場チケットの購入」が最多で7割を超えた。



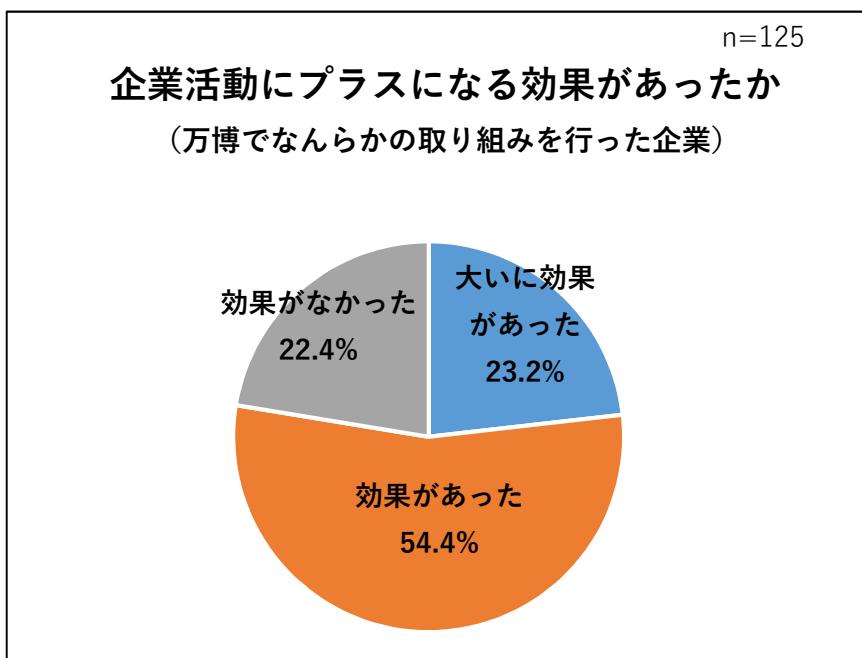
3. 万博が開催されたことで、企業活動にプラスとなる効果があったか（単数回答）

- 約半数（47.4%）が「大いに効果があった」「効果があった」と回答。
- 効果があった理由として、「自社の製品・サービスのPRにつながった」、「人材育成、従業員のモチベーション向上につながった」がそれぞれ4割を超えた。



3. 万博が開催されたことで、企業活動にプラスとなる効果があったか（単数回答）

- 設問2で万博に関して自社で「なんらかの取り組みを行った」と回答した企業では、8割弱（77.6%）が「大いに効果があった」「効果があった」と回答した。

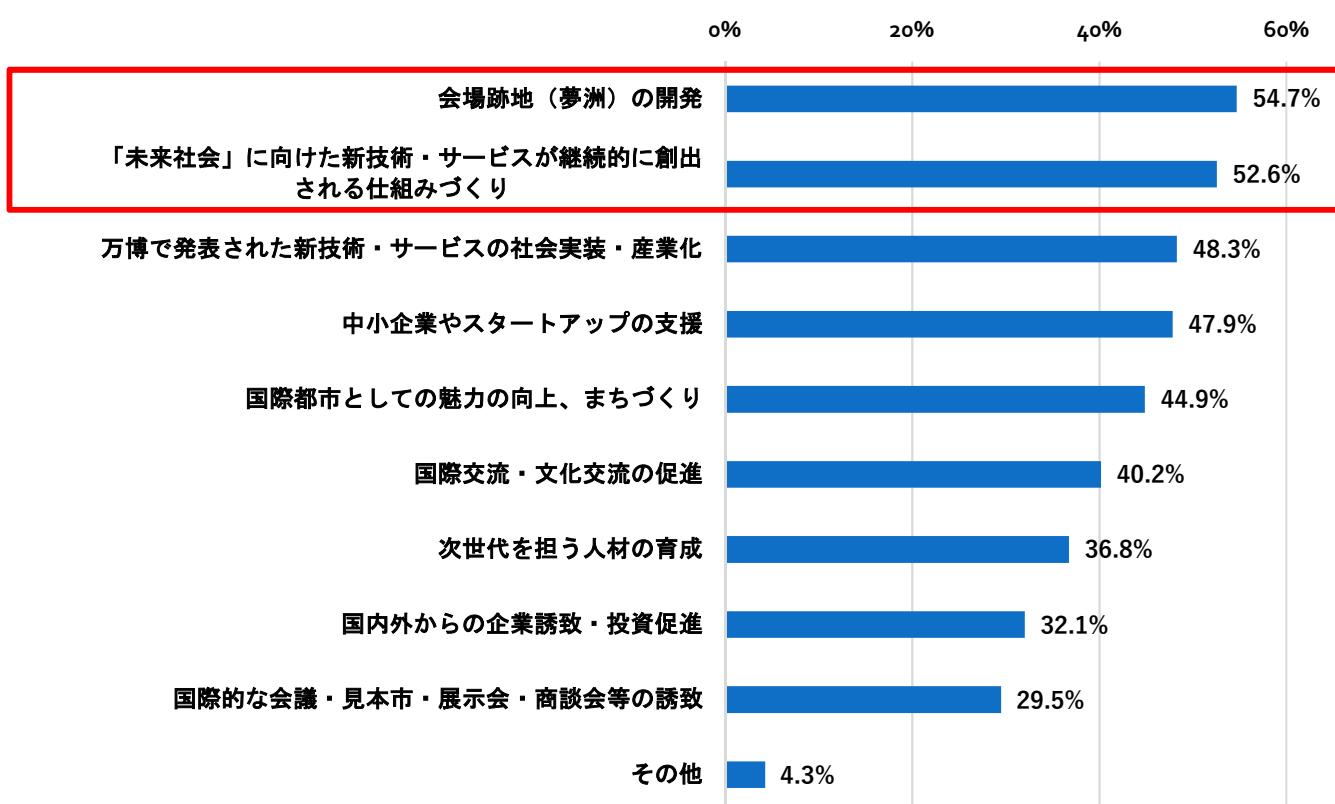


4. 万博後に大阪が取り組むべきこと（複数回答）

- 半数以上の企業が「会場跡地（夢洲）の開発」、「『未来社会』に向けた新技術・サービスが継続的に創出される仕組みづくり」と回答。
- 「万博で発表された新技術・サービスの社会実装・産業化」「中小企業やスタートアップの支援」「国際都市としての魅力の向上、まちづくり」という回答もそれぞれ4割を超えた。

今後、大阪が取り組むべきこと

n=234



5. 万博に関するご意見・ご感想（自由記述、抜粋して紹介）

【万博の感想】

- 公私共々 非常に有意義な機会でした。 大阪での開催でよかったです。
【1000万円超～5000万円以下、5人以下、卸売・小売業】
- 万博を通じて 地域経済や企業活動に大きな効果を実感した。
【1000万円以下、5人以下、サービス業】
- 開催して本当に良かった。大阪のパワーを感じた。
【1000万円超～5000万円以下、301人以上、サービス業】
- 様々な課題のある中、関係者スタッフも来場者も一体となって盛り上げ、万博そのものがまさに共創の場であったと思う。また、万博の成功は大阪の人々に自信をもたらしたと思う。
【1000万円超～5000万円以下、21～50人、製造業】
- 大きなトラブルがさほど発生せず 円滑な運営がなされ、来場者数、満足度とともに盛り上がりを見せたことが素晴らしいと思う。運営の皆さんに感謝。
【3億円超、301人以上、製造業】

【跡地活用について】

- 閉幕後に 夢洲をどう活用するのか。
【1000万円超～5000万円以下、21～50人、サービス業】
- 大屋根を含めた建設物の再利用が進むのか、気になる。
【1000万円超～5000万円以下、50～300人、その他】
- 今後は、この盛り上がりを一過性のものにせず、会場跡地の有効活用や地域全体のまちづくりにしっかりとつなげていただきたいと期待。
【1000万円以下、5人以下、サービス業】
- 万博の跡地を有効に活用してほしい。
【1000万円超～5000万円以下、5人以下、サービス業】

5. 万博に関するご意見・ご感想（自由記述、抜粋して紹介）

【万博レガシーと今後への期待】

- 打ち上げ花火のような経済効果はあった。レガシーとして何が残るのかが課題。
【3億円超、301人以上、製造業】
- 今後レガシーをどう残していくかが、本当の意味の開催の成否になると思う。
【3億円超、301人以上、卸売・小売業】
- 万博からIR統合型リゾートへ続けて大阪の起爆剤としてほしい。エンターテインメント、国際会議などシンガポール、ラスベガスのような魅力価値ある人的交流を期待。
【1000万円超～5000万円以下、21～50人、製造業】
- 万博が終わっても大阪が魅力的な街だと発信し続けてほしい。
【1000万円以下、5人以下、卸売・小売業】
- 万博の意義や成果、未来への貢献について、より積極的かつ建設的な発信が求められる。
【1000万円超～5000万円以下、21～50人、建設・不動産業】
- 特に中小企業や個人事業者にとっても継続的な参加機会が得られる仕組みがあれば、地域の発展にさらに貢献できると考える。
【1000万円以下、5人以下、サービス業】
- 大阪だけでなく全国で盛り上がるような工夫とそれを受入れができるインフラの整備が必要と思う。
【1000万円以下、5人以下、製造業】
- 万博の収益を大阪の街に還元してほしい。まずは大阪市内全地域を災害に強い街にしてほしい。
【1000万円以下、6～20人、サービス業】

3. ハイライト

3. ハイライト



▲2018年11月23日
2025万博開催国決定に係るビューイングに
尾崎裕本会議所会頭が出席



提供：（公社）2025年日本国際博覧会協会

▲2023年4月13日
起工式に鳥井信吾本会議所会頭が出席



提供：（公社）2025年日本国際博覧会協会

▲2025年4月12日
開会式に鳥井信吾本会議所会頭、
立野純三・東和浩・吉田昌功・黒田章裕・
廣瀬恭子・芳井敬一・相良暁
本会議所副会頭が出席



▲2025年4月21日
日本アセアンビジネス促進プラットフォーム
の参加国代表者と鳥井信吾本会議所会頭が
万博会場を視察



▲2025年4月30日
大阪ヘルスケアパビリオンリボーンチャレンジを
黒田章裕本会議所副会頭が視察



▲2025年5月2日
ブータン商工会議所会頭が
立野純三本会議所副会頭を表敬訪問



▲2025年5月24日
グローバルシェイパーズシンポジウムに
吉田昌功本会議所副会頭が登壇



▲2025年6月2日
アジア商工会議所連合会（CACCI）会長が
相良暁本会議所副会頭を表敬訪問



▲2025年9月22日
ESM（欧州安定メカニズム）最高経営責任者が
東和浩本会議所副会頭を表敬訪問



▲2025年10月7日
大阪ヘルスケアパビリオンリボーンチャレンジを
本荘武宏本会議所副会頭が視察



▲2025年10月12日
BIEデー表彰式にて
廣瀬恭子本会議所副会頭がメダルを授与



提供：（公社）2025年日本国際博覧会協会

▲2025年10月13日
閉会式に鳥井信吾本会議所会頭、
立野純三・東和浩・吉田昌功・黒田章裕・
廣瀬恭子・相良暁本会議所副会頭が出席

4. 編集後記

大阪での55年ぶりの万博が無事成功裡に閉幕しました。

招致活動から様々な準備、開催中の運営に至るまで、長期間にわたり多大な努力をされた関係者の方々に心から感謝いたします。

本会議所といたしましても、招致活動への参画、建設費寄付金への協力、入場券の販売、機運醸成活動、大阪ヘルスケアパビリオンの出展支援、国内外からの来訪者接遇など、力を尽くしてまいりました。

この間、ご協力いただいた会員企業をはじめとする関係者の皆様に深く感謝いたします。

70年万博で小学生だった私が世界の広さを体感したように、現代の若者や子供たちが世界の多様性の尊重や協力の重要性、未来を切り開く技術の可能性や活力を感じ取ってもらえたとしたら、支援する経済団体の一員として望外の幸せです。

大阪は国内外の多様な人たちを受け入れ、彼らの成長・発展の苗床の役割を果たす素地と歴史を持っています。

今回の万博を契機に世界中が大阪の存在を再認識し、世界の課題解決や発展のために集い、産み、羽ばたく地となることを期待しています。

いのち輝く未来社会のデザインづくりが脈々と続いていきますように。

大阪商工会議所 専務理事 井内摂男

※本報告書は、万博に関する本会議所の取り組みの総括的な内容を取りまとめています。詳細は、本会議所のホームページに掲載の各年度事業報告書をご参照ください。



2025年日本国際博覧会に関する取り組み報告

発行月 2025年12月

発行者 大阪商工会議所 地域振興部 万博協力推進室

連絡先 〒540-0029 大阪府大阪市中央区本町橋2-8

TEL: 06-6944-6323 E-mail:chishin@osaka.cci.or.jp

※文章、写真、データ等の無断転載・転用はお控えください。

